

DMX7509XS

MONITOR WITH RECEIVER

取扱説明書（ユーザーズガイド）

お買い上げいただきましてありがとうございます。

ご使用前に、本書をよくお読みのうえ、

説明の通り正しくお使いください。

本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

株式会社 JVCケンウッド



— 本機のサポート情報を役立てよう！ —

本機の最新情報はこちら

ファームウェアのバージョンアップ情報など
本機の最新情報を掲載しています。

<https://www.kenwood.com/jp/cs/car/audio/>



FAQ（よくあるご質問）

当社のホームページでは、本機についてのお問い合わせの内容を掲載しています。
本書の「故障かなと思ったら」と合わせて
こちらをご覧ください。

<https://www.kenwood.com/jp/cs/car/faq/>



目次

はじめに

安全上のご注意	4
取り付けや配線について	4
使用方法について	5
異常時の問い合わせ	6
使用上のご注意	7
基本操作	9
フロントパネルのボタンの機能	9
本機の電源を入れる	10
初期設定	10
初期セットアップ	10
音量の調整	10
タッチスクリーン操作	10
ポップアップメニュー	11
HOME画面の説明	11
HOME画面を表示する	12
ソース選択画面の説明	12
再生ソースを選択する	12
スタンバイソース	13
HOME画面のショートカットボタンをカスタマイズする	13
ショートカットメニュー	13
共通画面	14
リスト画面を表示する	14
DSP画面を表示する	14

オーディオ・ビジュアル

USB	16
USBデバイスの接続	16
USBデバイスの接続解除	16
使用可能なUSBデバイス	16
USBの基本操作	16
検索操作	18
カテゴリ検索（オーディオファイルのみ）	18
リンク検索（オーディオファイルのみ）	18
フォルダー検索	18
iPhone	19
準備	19
接続可能なiPhone	19
iPhoneを接続する	19
iPhoneの基本操作	20
検索操作	20
カテゴリ検索	21
リンク検索	21
アルファベット検索	21

アプリ	22
Apple CarPlayの操作	22
iPhoneの接続	22
Apple CarPlayデバイスを選択する	22
Apple CarPlayのホーム画面に表示される操作キーおよび利用可能なアプリ	22
Siriを使う	23
ほかのソースを聴いている状態でApple CarPlay画面に切り替える	23
Android Auto™ の操作	23
Android™スマートフォンの接続	24
Android スマートフォンを選択する	24
Android Auto 画面に表示される操作キーおよび利用可能なアプリ	24
音声コントロールの使用	24
ほかのソースを聴いている状態で Android Auto 画面に切り替える	25
ミラーリング	25
準備	25
ラジオ	26
ラジオの基本操作	26
メモリー操作	26
オートメモリー	26
手動メモリー	26
選択操作	27
プリセット選択	27
ダイレクト検索	27
設定	27

Bluetooth

Bluetoothコントロール	28
Bluetooth®デバイス使用時のご案内	28
スマートフォン／携帯電話およびBluetoothオーディオプレーヤーについて	28
Bluetooth接続におけるプライバシーおよびセキュリティに関するご注意	28
Bluetoothデバイスを登録する	28
接続するデバイスを切り替える	29
Bluetoothセットアップ	30
デバイス名を変更する	30
Bluetoothオーディオデバイスの再生	30
Bluetoothの基本操作	31
ハンズフリーフォンの使用	31
電話をかける	31
着信を受ける	32
通話中の操作	32
ハンズフリーセットアップ	33

オプション

その他の外部コンポーネント	34
ビューカメラ	34
カメラ画面を表示する	34
カメラセットアップ	34
駐車ガイドライン調整	34
外部オーディオ／ビデオプレーヤー (AV-IN)	35
HDMIソース	35

情報・設定

セットアップ	36
Bluetoothセットアップ	36
デバイス名を変更する	36
ディスプレイセットアップ	36
入力セットアップ	37
システムセットアップ	38
オーディオのコントロール	38
3ウェイスピーカーシステムセットアップ	38
スピーカー / クロスオーバーセットアップ	39
イコライザーコントロール	40
リスニングポジション／DTA	41
フェーダー／バランスコントロール	42
ソースの音量レベル設定	42
音量調整	42
サウンドエフェクト	42
オーディオメモリー	43

取付説明

接続／取り付け	44
取り付けの前に	44
取付用付属品	45
取り付け手順	45
付属品の取り付け	45
GPSアンテナ	45
マイクユニット	46
本機の取り付け	46
ディスプレイユニットの取り付け位置を確認する	46
本体の取り付け	47
ディスプレイユニットの取り外し	48
本機の接続	49
電源ハーネスの接続	49
3ウェイスピーカーシステムセットアップ	50
システムおよび外部機器の接続	50
USBデバイス／iPhone／Android™の接続	51
カメラの接続	51

付録

故障かなと思ったら	54
一般的な操作について	54
オーディオ操作について	54
リバース操作について	54
Bluetooth操作について	54
再生可能なメディアとファイル	55
ファイルについて	55
主な仕様	57
本機について	59
特許権／著作権／商標など	59
ソフトウェア使用許諾契約書	62

安全上のご注意

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区別して、説明しています。

 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- お守りいただく内容の種類を絵記号で区別して、説明しています。

	注意（しなければならない）の内容です。
	禁止（してはいけない）の内容です。
	実行（かならず行っていただく）の内容です。

取り付けや配線について

警告

-  **本機はDC12V ⊖アース車以外で使用しない**
火災や故障の原因となります。DC24V車（大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など）で使用しないでください。
-  **エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない**
エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因となります。エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。
-  **取り付けやアース配線に車の保安部品（ステアリング、ブレーキ、タンクなど）のボルトやナットを絶対に使用しない**
制御不能や発火、交通事故の原因となります。
-  **視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない**
交通事故やけがの原因となります。
-  **フィルムアンテナは保安基準の取付許容範囲外に貼り付けない**
視界不良やアンテナがはがれて、事故の原因となります。
-  **取り付け・配線は、安全のため専門技術者に依頼する**
取り付け・配線、取り外し、周辺機器の追加は専門技術が必要です。誤った取り付けや配線をするると車に重大な支障をきたし交通事故の原因となります。安全のため必ずお買い上げの販売店にご相談ください。
-  **説明書に従って取り付け・配線をする**
火災や故障の原因となります。作業は手順とおりに正しく行ってください。
-  **作業前に必ずバッテリーの⊖端子を外す**
外さずに作業をするとショートによる感電やけがの原因となります。

**作業前に、車体のパイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する**

車体に穴を開けて取り付ける場合はパイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないよう注意して、加工部のサビ止め・浸水防止処理をしてください。火災や感電の原因となります。

**必ず付属の部品や指定の部品を使用する**

本機の損傷や確実に固定できず外れて事故や故障、火災の原因となります。

**コード類は、運転を妨げないように引き回し固定する**

ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故の原因となります。

**車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する**

断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

**コードの被覆のない部分はテープなどで絶縁する**

被覆がない部分が金属部に接触するとショートによる火災や感電、故障の原因となります。

**パーキング検出（パーキングブレーキ）コードは正しく配線する**

正しく配線しないと安全機能が働かず、交通事故の原因となります。

**取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確認する**

車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因となります。

**ネジなどの小物部品は乳幼児の手の届かないところに置く**

誤って飲み込むおそれがあります。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠ 注意**自動車のコンソールに取り付ける**

本機の使用または使用直後は、本機の背面や側面などの金属部分が高温になっています。直接触れるとやけどの原因となることがあります。取り外すときなどご注意ください。

**直射日光やヒーターの熱風が直接当たる場所に取り付けけない**

本機の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

**水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けけない**

水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因となることがあります。

**本機の通風口や放熱板をふさがない**

本機の内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

**コードの扱いに注意する**

コードを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱機器に近づけるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となることがあります。

使用方法について**⚠ 警告****分解・修理および改造はしない**

分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。

**音量は、車外の音が聞こえない音量で使用しない**

車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。

**本機内部に、水や異物を入れない**

金属物や燃えやすいものが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電の原因となります。飲み物などが本機にかからないようにご注意ください。

**故障や異常な状態のまま使用しない**

画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火災、感電の原因となります。

**運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視したりしない**

必ず安全な場所に車を停車し、パーキングブレーキをかけた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。

**雷が鳴り出したら、アンテナコードや本機に触れない**

落雷による感電の原因となります。

**ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門業者に依頼する**

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。交換は、お買い上げの販売店、またはお近くのサービス窓口にご依頼ください。

注意**本機を車載用以外で使用しない**

発煙や発火、感電やけがの原因となることがあります。

**ディスプレイや可動部に負荷を与えない**

ディスプレイに袋を吊り下げたり、上から手をついて押さえたりしないでください。脱落や破損などで、交通事故やけがの原因となることがあります。

**可動部に手や指を入れない**

フロントパネルの角度調整のときにはご注意ください。けがの原因となることがあります。

異常時の問い合わせ **警告**

異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売店かサービス窓口にご相談する
そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

使用上のご注意

■安全走行のために

安全上の配慮から、走行中はテレビやビデオなどの映像を見ることはできません。安全な場所に駐車してパーキングブレーキをかけてからお楽しみください。なお、走行中であっても音声だけは出力されます。また、同様の理由で一部の機能で操作できないものがあります。

■本機のお手入れについて

操作パネルや本体部が汚れたときは、市販のシリコンクロスなどの柔らかい布で乾拭きしてください。

汚れがひどいときは、中性洗剤を付けた布で汚れを拭き取ってから、乾いた布で洗剤を拭き取ってください。硬い布やアルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。

傷が付いたり文字が消えたりすることがあります。

■画面について

- 画面をボールペンなどの先のとがった物で操作しないでください。画面が損傷する場合があります。
- 画面に強い衝撃を加えないでください。故障の原因となります。
- 画面に保護用フィルムなどを貼らないでください。タッチ操作時に誤動作する場合があります。
- 画面に直射日光が当たらないようにしてください。直射日光が当たる状態で長時間使用すると高温になり、画面が故障する原因となります。
- 極端に高温または低温になると、表示の動きが遅くなったり、暗くなったりすることがあります。これは液晶画面の特性によるもので故障ではありません。車内が常温に戻れば回復します。
- 画面に小さな点が出ることがあります。これは液晶画面特有の現象で故障ではありません。
- 液晶画面の特性により、液晶を見る角度によっては表示が見づらいたることがありますが、故障ではありません。

■電波について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています（受けた部品を使用しています）。

したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。また本機は、以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。

- ・ 分解/改造すること
- ・ 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと
- 本機のBluetooth®機能は2.4GHz帯の周波数帯を使用します。
- 本機の無線LAN機能は2.4GHz帯と5GHz帯の周波数帯を使用します。
- 本機の無線LANは以下の規格に対応しています。

無線LAN規格		802.11 a/b/g/n/ac
周波数範囲	2.4GHz	2.451~2.473GHz
	5GHz	5.150~5.250GHz
使用チャンネル	2.4GHz	11ch
	5GHz	W52 (36/40/44/48ch)

- 電波法により、5GHz帯(W52)の帯域を使用した無線装置は、自動車内に設置して使用する以外、使用は禁止されています（法令により許可された場合を除く）。5GHz帯(W52)を利用した無線LAN機能は、必ず自動車内でご使用ください。
- 本機は2.4GHz帯の周波数を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、以下の事項に注意してご使用ください。

使用上のご注意

本機の使用周波数帯（2.4GHz）では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、当社カスタマーサポートセンターにご連絡頂き、混信回避の処置等についてご相談ください。

3 その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、当社カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

- 製品に表示している周波数表示の意味は下記の通りです。

2.4 FH1/DS4/OF4

2.4：2.4GHz帯を使用する無線機器です。
FH/DS/OF：FH-SS、DS-SS、OFDM変調方式を表します。

1：電波干渉距離は10m以下です。

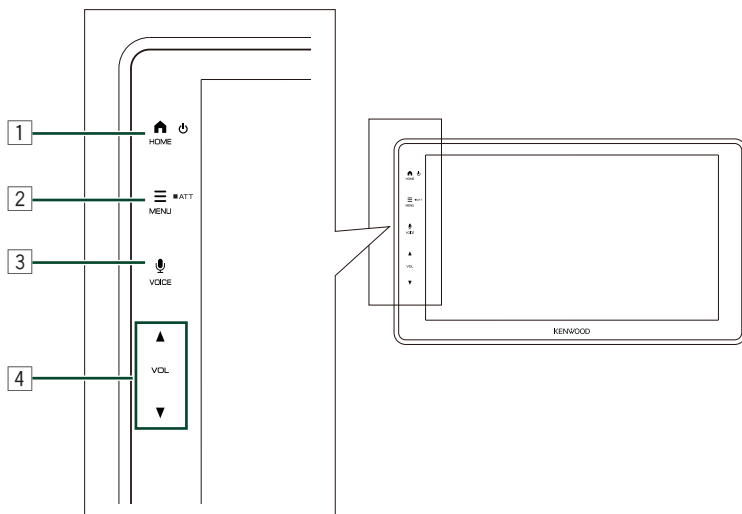
4：電波干渉距離は40m以下です。

  ：全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域回避可能です。

- 使用可能距離は見通し距離約10mです。
鉄筋コンクリートや金属の壁等をはさんでトランスミッターとレシーバーを設置すると電波を遮ってしまい、音楽が途切れたり、出なくなったりする場合があります。本機を使用する環境により伝送距離が短くなります。
- 下記の電子機器と本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じることがあります。
 - 2.4GHzの周波数帯域を利用する無線LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話などの機器の近く。電波が干渉して音が途切れることがあります。
 - ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CSチューナー、VICSなどのアンテナ入力端子を持つAV機器の近く。音声や映像にノイズがのることがあります。
- 本機は電波を使用しているため、第3者が故意または偶然に傍受することが考えられます。重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。

基本操作

フロントパネルのボタンの機能

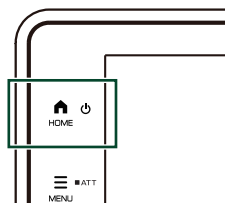


- 本マニュアルに掲載されているパネルは、操作説明をわかりやすくするための例です。そのため、実際のパネルとは異なる場合があります。

番号	名称	動作
1	HOME/ 電源	- HOME画面を表示します。 - 電源がオフのときに押すと、電源がオンになります。 - 電源がオンのときに長押しすると、電源がオフになります。
2	メニュー/ アッテネート	- ポップアップメニュー画面を表示します。 - 長押しすると、音量を一時的に下げる機能のオン/オフを切り替えます。
3	音声	- 音声認識機能のオン/オフを切り替えます。 - Apple CarPlay、Android Auto、またはBluetoothハンズフリー電話が接続されていない状態でこのボタンを長押しすると、設定メニューのBluetooth画面が表示されます。
4	▼、▲ (音量)	- 音量を調整します。 - アッテネート状態：アッテネート解除 - 長押しすると、音量が連続的に下がる／上がるように調整されます。 注：音量が連続的に上がるのはレベル15までです。

本機の電源を入れる

1 家/心ボタンを押す



本機の電源が入ります。



- 取り付け後に初めて本機の電源を入れた場合、注意画面が表示されます。内容を確認のうえ、[同意]をタッチしてください。

■ 本機の電源を切るには：

1 家/心ボタンを押し続ける

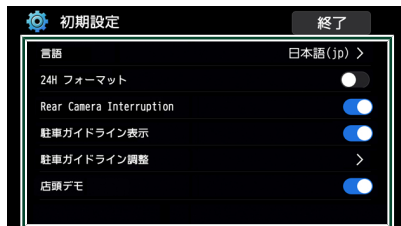
本機の電源（画面、音声、ボタン照明）がオフになります。

初期設定

初期セットアップ

本機を初めて使用する際に、この初期セットアップを行ってください。

1 各項目を設定する



■ [言語]

操作画面や設定項目に使用する言語を選択します。

- [言語]のエリアをタッチする
- リストから希望する言語を選択する

■ [24H フォーマット]

本機の時刻表示形式を設定します。
この機能を有効にすると、本機の時刻は24時間表示になります。

■ [Rear Camera Interruption]

タッチして機能のオン／オフを切り替えます。

この機能を有効にすると、リバース時にカメラ映像が表示されます。

■ [駐車ガイドライン表示]

タッチして機能のオン／オフを切り替えます。

この機能を有効にすると、リバース時に駐車ガイドラインが表示されます。

■ [駐車ガイドライン調整]

タッチして駐車ガイドラインの設定画面に入ります。➡ [駐車ガイドライン調整]

(P. 34) を参照してください。

[駐車ガイドライン表示]がオフの場合、この機能は無効になります。

■ [店頭デモ]

デモモードを設定します。初期設定はオンです。

2 [終了]をタッチする

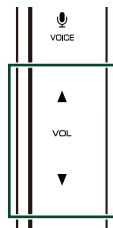


- これらの設定は、[設定]メニューから行えます。

音量の調整

音量を調整できます (0~40)。

▲を押すと音量が大きくなり、▼を押すと小さくなります。

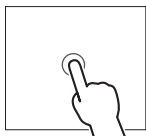


タッチスクリーン操作

画面上で操作を行うには、タッチ、長押し、フリック、スワイプなどの操作で項目の選択、設定メニュー画面の表示、ページの切り替えを行います。

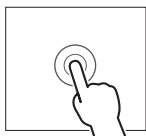
● タッチ

画面上の項目を選択するには、軽くタッチしてください。



● 長押し

画面に触れたまま指を離さずに保持すると、表示が変わったりメッセージが表示されたりします。



● フリック

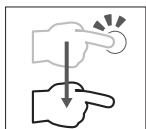
ページを切り替えるには、画面上で指を左または右にすばやくスライドさせます。

画面を上下にフリックすることで、リスト画面をスクロールできます。



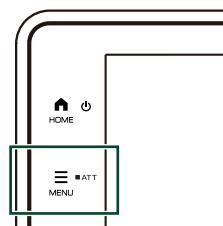
● スワイプ

画面上で指を上下にスライドさせると、画面がスクロールします。



ポップアップメニュー

1 ミニ/[ATT]ボタンを押す



ポップアップメニューが表示されます。

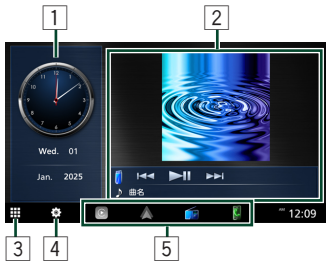


メニューの内容は以下のとおりです。

	・ 映像調整画面を表示します。
	・ タッチすると画面がオフになります。
	・ カメラ画面を表示します。
	・ 設定メニューを表示します。
	・ DSPメニューを表示します。
	・ ポップアップメニューを閉じます。
	・ Bluetooth設定メニューを表示します。
	・ 直前のメディアソースボタンを表示します。
	・ HOME画面と同じ4つのショートカットボタンを表示します。

HOME画面の説明

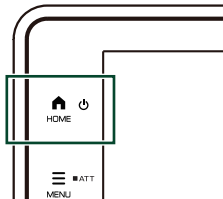
ほとんどの機能はHOME画面から操作できます。



1	時刻情報を表示し、タッチすると時刻設定画面に入ります。
2	現在のオーディオソース（音楽／ラジオ）の情報を表示し、操作をサポートします。
3	タッチしてソース選択画面に入ります。
4	タッチして設定画面に入ります。
5	4つのショートカットボタンを表示します。タッチするとソース画面に入ります。

HOME画面を表示する

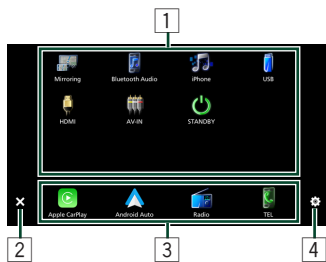
1 家／電源ボタンを押す



HOME画面が表示されます。

ソース選択画面の説明

ソース選択画面では、すべての再生ソースおよびオプションのアイコンを表示できます。



1	下部バーの4つの機能を除く、その他の機能アイコンを表示します。
2	前の画面に戻ります。
3	HOME画面と同じ4つのショートカットボタンを表示します。
4	設定画面を表示します。

再生ソースを選択する

1 家／電源ボタンを押す

HOME画面が表示されます。

2 グリッドをタッチする

画面から、以下のソースおよび機能を選択できます。

	接続されたiPhoneのApple CarPlay画面に切り替わります。
	接続されたAndroid™スマートフォンのAndroid Auto画面に切り替わります。
	ラジオ画面を表示します。
	ハンズフリー画面を表示します。
	ミラーリング画面を表示します。
	Bluetoothオーディオプレーヤーを再生します。
	iPhoneの再生を開始します。
	USBデバイス内のファイルを再生します。
	HDMI画面を表示します。

	AVオーディオ入力端子および映像入力端子に接続され、かつAVオーディオ入力端子にもケーブルが接続されている場合、[AV-IN]ソースを使用できます。^{[1] [2]}
	本機をスタンバイ状態にします。

^[1] カメラ以外の映像機器からのケーブルが映像入力端子に接続され、かつAVオーディオ入力端子にもケーブルが接続されている場合、[AV-IN]ソースを使用できます。

^[2] 入力設定で、「AV Input」を「AV-IN」に設定してください。➡「入力セットアップ」(P. 37)

・構成の違いにより、機能アイコンが異なる場合があります。

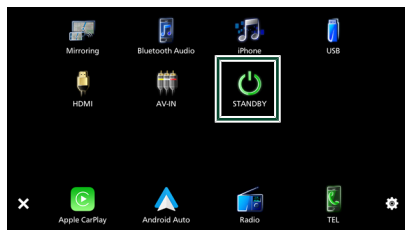
■ HOME画面で再生ソースを選択するには



ソース選択画面の下部に表示される4つの項目は、HOME画面にも表示されます。このエリアに表示される項目は、ソース選択画面のカスタマイズで変更できます。

スタンバイソース

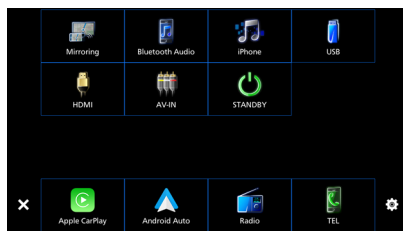
- 1  ボタンを押す
HOME画面が表示されます。
- 2  をタッチする
- 3 [STANDBY]をタッチする



HOME画面のショートカットボタンをカスタマイズする

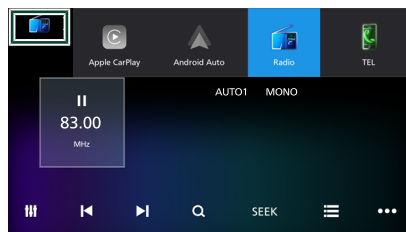
ソースアイコンの配置はお好みに合わせて変更できます。

- 1  ボタンを押す
HOME画面が表示されます。
- 2  をタッチする
- 3 移動したいアイコンをタッチし続ける
カスタマイズモードになります。
- 4 移動先の位置をタッチする



ショートカットメニュー

ソースコントロール画面で、画面左上隅をタッチするとショートカットメニューが表示されます。



画面にHOME画面と同じ4つのショートカットボタンが表示されます。

共通画面

ほとんどのソース画面には共通の機能キーがいくつかあります。

リスト画面を表示する

■ USB/iPhoneの場合：

- 1 ソースコントロール画面で  をタッチする

リスト画面が表示されます。

DSP画面を表示する

■ オーディオおよびビデオ画面の場合：

- 1 ソースコントロール画面で  をタッチする

イコライザー画面が表示されます。



- 現在のソースやモードによっては、一部の機能キーが表示されない場合があります。

MEMO

はじめに

オーディオ・
デジタル

Bluetooth

オプション

情報・設定

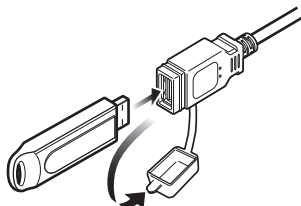
取付説明

付録

USB

USBデバイスの接続

1 USBケーブルでUSBデバイスを接続する



ソースが「USB」に切り替わり、再生が開始されます。

■すでに接続されている場合

- 1 **▲/○ボタン**を押す
HOME画面が表示されます。
- 2 **□**をタッチする
- 3 **[USB]**をタッチする

USBデバイスの接続解除

- 1 **▲/○ボタン**を押す
HOME画面が表示されます。
- 2 **[USB]以外のソース**をタッチする
- 3 USBデバイスを取り外す

使用可能なUSBデバイス

本機では、マストレージクラス対応のUSBデバイスが使用できます。本マニュアルにおける「USBデバイス」とは、フラッシュメモリーデバイスを指します。

● ファイルシステムについて

ファイルシステムは、以下のいずれかである必要があります。

- ・ FAT16 ・ FAT32 ・ exFAT ・ NTFS



- ・ USBデバイスは、安全運転に支障のない場所に設置してください。

- ・ USBハブやマルチカードリーダー経由でのUSBデバイスの接続はできません。
 - ・ 本機で使用するオーディオファイル、ビデオファイルのバックアップを取ってください。ファイルはUSBデバイスの動作状況によって消去される場合があります。
- データの消失によって生じたいかなる損害についても、当社は一切の補償をいたしません。

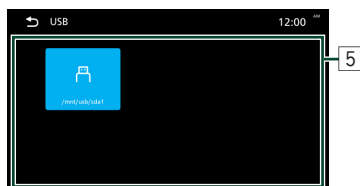
USBの基本操作

ほとんどの機能は、ソースコントロール画面および再生画面から操作できます。

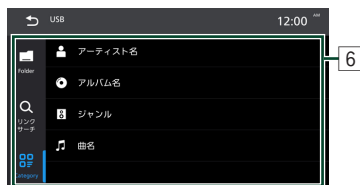
オーディオコントロール画面



USBパーティション



リスト画面



1 オーディオ/ビデオ

タッチしてオーディオ/ビデオ再生画面に入ります。

2 トラック情報

現在のファイル情報を表示します。タグ情報がない場合は、ファイル名とフォルダー名のみが表示されます。

3 再生時間

現在の再生位置を確認するための表示です。丸印を左右にドラッグして、再生位置を変更できます。

4 操作キー

- ◀ ▶ : 前の／次のトラック・ファイルを検索します。
長押しすると早送りまたは早戻しをします。
- ⏸ : 再生または一時停止します。
- 🔄 : 現在のトラック／フォルダーをリピート再生します。キーを押すたびに、リピートモードが以下の順に切り替わります：リピートファイル、リピートフォルダー、リピートオール
- 🎲 : 全トラックをランダム再生します。キーを押すたびに、ランダムモードが以下の順に切り替わります：ランダムフォルダー、ランダムオフ
- 📊 : タッチしてイコライザー画面を表示します。
- ☰ : タッチするとUSBパーティションリストが表示されます。

5 USBパーティションリスト

- 画面の☰をタッチすると、最大5つまでのUSBパーティション（音楽ファイルのみを含む）が表示されます。
- 現在再生中の曲が含まれるセクションが強調表示されます。

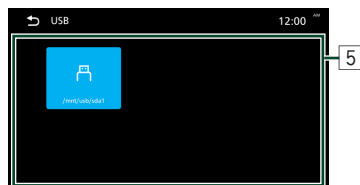
6 コンテンツリスト

- USBパーティションリストの任意のセクションをタッチすると、コンテンツリストが表示されます。リストのトラック／ファイル名をタッチすると、再生が開始されます。
- 📁 : オーディオファイルを含むすべてのフォルダーを表示します。
- 🔍 : 再生中の音声ファイルと同じアーティスト／アルバム／ジャンルのファイルを検索します。
- 📁 : カテゴリ別にファイルを検索します（オーディオファイルのみ）。

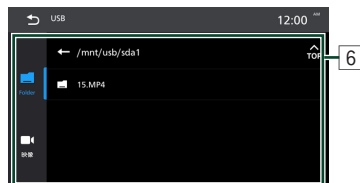
ビデオコントロール画面



USBパーティション



リスト画面



1 オーディオ／ビデオ

タッチしてオーディオ／ビデオ再生画面に入ります。

2 アスペクト

タッチして画面表示の比率を切り替えます：オート、フル、ノーマル。

3 再生時間

現在の再生位置を確認するための表示です。丸印を左右にドラッグして、再生位置を変更できます。



4 操作キー

- ◀ ▶ : 前後のファイルを検索します。
- ⏸ : 再生または一時停止します。
- 🔄 : 現在のファイル／フォルダーをリピート再生します。キーを押すたびに、リピートモードが以下の順に切り替わります：リピートファイル、リピートフォルダー、リピートオール

-  : すべてのファイルをランダム再生します。キーを押すたびに、ランダムモードが以下の順に切り替わります: ランダムフォルダー、ランダムオフ
-  : タッチするとイコライザー画面が表示されます。
-  : タッチするとUSBパーティションリストが表示されます。

5 USBパーティションリスト

- 画面の  をタッチすると、最大5つまでのUSBパーティション（ビデオファイルのみを含む）が表示されます。
- 現在再生中のビデオが含まれるセクションが強調表示されます。

6 コンテンツリスト

- 画面の  をタッチすると、コンテンツリストが表示されます。リストのファイル名をタッチすると、再生が開始されます。
-  : ビデオファイルを含むすべてのフォルダーを表示します。
-  : すべてのビデオファイルを表示します。

検索操作

以下の操作で音楽ファイルやビデオファイルを検索できます。

- 1  をタッチする
- 2 リストの種類を選択する



カテゴリ検索（オーディオファイルのみ）

カテゴリを選択してファイルを検索できます。

- 1 [Category]をタッチする

2 移動先のカテゴリをタッチする



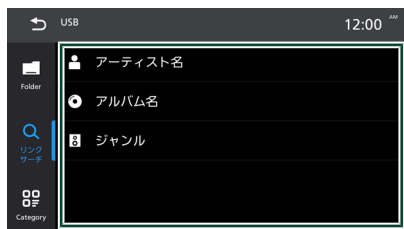
選択に対応するリストが表示されます。

- 3 リストから希望する項目をタッチして選択し、目的のファイルが見つかるまで操作を繰り返す

リンク検索（オーディオファイルのみ）

現在のトラックと同じアーティスト／アルバム／ジャンルのファイルを検索できます。

- 1 [リンクサーチ]をタッチする
- 2 目的のタグの種類（アーティスト、アルバム、ジャンル）をタッチする



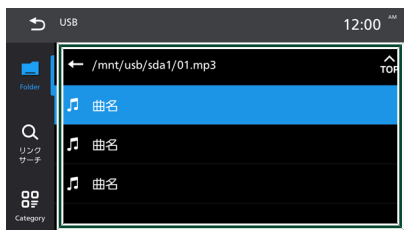
選択に対応するリストが表示されます。

- 3 コンテンツリストの希望する項目をタッチする

フォルダー検索

階層構造に沿ってファイルを検索できます。

1 [Folder]をタッチする



フォルダーをタッチすると、その中身が表示されます。

2 リストから希望する項目をタッチして選択し、目的のファイルが見つかるまで操作を繰り返す

iPhone

準備

接続可能なiPhone

以下のモデルを本機に接続できます。
対応機種

- iPhone 15 Pro Max
- iPhone 15 Pro
- iPhone 15 Plus
- iPhone 15
- iPhone 14 Pro Max
- iPhone 14 Pro
- iPhone 14 Plus
- iPhone 14
- iPhone SE（第3世代）
- iPhone 13 Pro Max
- iPhone 13 Pro
- iPhone 13
- iPhone 13 mini
- iPhone 12 Pro Max
- iPhone 12 Pro
- iPhone 12
- iPhone 12 mini
- iPhone SE（第2世代）
- iPhone 11 Pro Max
- iPhone 11 Pro
- iPhone 11
- iPhone XS Max
- iPhone XS
- iPhone XR



- iPhone接続ケーブル（別売）でiPhoneを本機に接続すると、音楽再生中にiPhoneへ電源供給および充電が可能です。本機の電源をオンにした状態でご使用ください。
- iPhone接続後に再生を再開すると、iPhoneで再生していた音楽が最初に再生されます。

iPhoneを接続する

■ 有線接続

準備

- Apple CarPlayが接続されていない状態で、接続ケーブル（別売）を使ってiPhoneを接続してください。
- Apple CarPlay対応のiPhoneを接続する前に、iPhoneの機能セットアップでApple CarPlayをオフにしてください。セットアップ方法の詳細については、端末の製造元にお問い合わせください。
- 接続ケーブル（別売）を使って、iPhoneをUSB端子に接続してください。
- 接続できるiPhoneは1台のみです。

1 接続ケーブルを使用してiPhoneを接続する

2 ボタンを押す

HOME画面が表示されます。

3 をタッチする

4 [iPhone]をタッチする

- ケーブルで接続されたiPhoneを取り外すには：

1 iPhoneを取り外す

■ Bluetooth接続

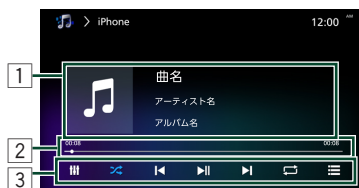
Bluetoothを介してiPhoneをペアリングします。

準備

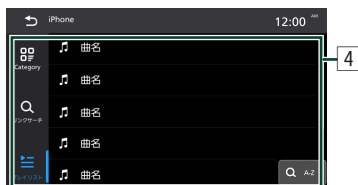
- iPhoneをBluetooth接続するには、事前にBluetoothデバイスとして登録し、接続のためのプロファイル設定を行ってください。
→ 「Bluetoothデバイスを登録する」 (P. 28) および「接続するデバイスを切り替える」 (P. 29) を参照してください。
- Apple CarPlayおよびiPhoneがUSB接続されていない状態で、Bluetooth経由でiPhoneを接続してください。
- Apple CarPlay対応のiPhoneを接続する前に、iPhoneの機能セットアップでApple CarPlayをオフにしてください。セットアップ方法の詳細については、端末の製造元にお問い合わせください。

iPhoneの基本操作

コントロール画面



リスト画面



1 トラック情報

現在のファイル情報を表示します。

2 再生時間

現在の再生位置を確認するための表示です。丸印を左右にドラッグして、再生位置を変更できません。

3 操作キー

-  ：前後のファイルを検索します。
長押しすると早送りまたは早戻しをします。
- ：再生または一時停止します。
- ：現在のファイルをリピート再生します。
キーを押すたびに、リピートモードが以下の順に切り替わります：リピートファイル、リピートオフ、リピートオール
- ：全トラックをランダム再生します。キーを押すたびに、ランダムモードが以下の順に切り替わります：ランダムフォルダー、ランダムオフ
- ：タッチしてイコライザー画面を表示します。
- ：タッチしてコンテンツリストを表示します。

4 コンテンツリスト

-  再生リスト：現在のプレイリストのトラックを表示します。
-  リンク検索：再生中の音声ファイルと同じアーティスト／アルバム／ジャンル／作曲家のファイルを検索します。
-  カテゴリー：アーティスト、アルバム、曲、ポッドキャスト、ジャンル、作曲家、オーディオブック別にファイルを検索します。

検索操作

以下の操作で音楽ファイルを検索できます。

1 をタッチする

2 リストの種類を選択する



カテゴリー検索

カテゴリーを選択してファイルを検索できます。

- 1 [Category]をタッチする
- 2 移動先のカテゴリーをタッチする



選択に対応するリストが表示されます。

- 3 リストから希望する項目をタッチして選択し、目的のファイルが見つかるまで操作を繰り返す

リンク検索

現在のトラックと同じアーティスト／アルバム／ジャンル／作曲者のファイルを検索できます。

- 1 [リンクサーチ]をタッチする
- 2 目的のタグの種類（アーティスト、アルバム、ジャンル、作曲者）をタッチする



選択に対応するリストが表示されます。

- 3 コンテンツリストの希望する項目をタッチする

アルファベット検索

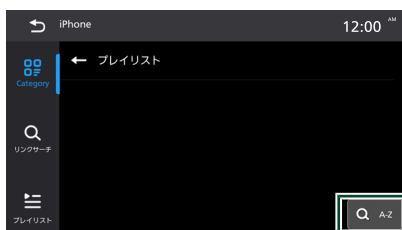
アルファベットでファイルを検索できます。

- 1 [Category]をタッチする
- 2 移動先のカテゴリーをタッチする



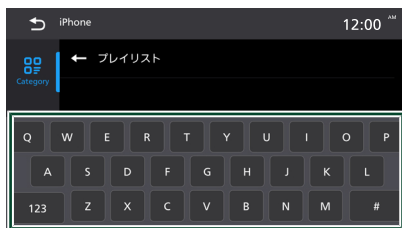
選択に対応するリストが表示されます。

- 3 Q A-Z をタッチする



英語キーボードが表示されます。

- 4 英数字、記号で検索する



アプリ

Apple CarPlayの操作

Apple CarPlayは、車内でiPhoneをよりスマートかつ安全に使うための機能です。Apple CarPlayは、運転中にiPhoneで行いたいことを本機の画面に表示します。運転中でも、iPhoneからナビ案内を受けたり、通話をしたり、メッセージの送受信を行ったり、音楽を聴いたりできます。Siriの音声コントロールも利用でき、iPhoneの操作がより簡単になります。

Apple CarPlayの詳細については、<https://www.apple.com/ios/carplay/>をご覧ください。

■対応iPhoneデバイス

以下のiPhoneモデルでApple CarPlayを使用できます。

- iPhone 15 Pro Max
- iPhone 15 Pro
- iPhone 15 Plus
- iPhone 15
- iPhone 14 Pro Max
- iPhone 14 Pro
- iPhone 14 Plus
- iPhone 14
- iPhone SE（第3世代）
- iPhone 13 Pro Max
- iPhone 13 Pro
- iPhone 13
- iPhone 13 mini
- iPhone 12 Pro Max
- iPhone 12 Pro
- iPhone 12
- iPhone 12 mini
- iPhone SE（第2世代）
- iPhone 11 Pro Max
- iPhone 11 Pro
- iPhone 11
- iPhone XS Max
- iPhone XS
- iPhone XR

iPhoneの接続

■有線接続

1 USB端子を使ってiPhoneを接続する

Apple CarPlay対応のiPhoneがUSB端子に接続されると、現在接続されているBluetoothハンズフリー電話は切断されます。ほかのBluetoothハンズフリー電話を使用している場合は、通話終了後に切断されます。

2 iPhoneのロックを解除する

■ワイヤレス接続

[Device List]に登録されているiPhoneを選択して、Apple CarPlayデバイスとして使用できます。➡「Bluetoothデバイスを登録する」（P. 28）を参照してください。



- iPhoneのBluetooth機能とWi-Fi機能をオンにしてください。
- 2台以上のiPhoneが登録されている場合は、[Apple CarPlay]ソースとして使用するiPhoneを選択してください。
- ワイヤレスApple CarPlayを使用するには、GPSアンテナの接続が必要です。
- Wi-Fi接続が利用できなくなると、HOME画面が表示されます。
- iPhoneの機能セットアップでApple CarPlayがオフにされている場合は、Apple CarPlayを使用できません。

■iPhoneを接続した際に、現在の画面をApple CarPlay画面に切り替えるには

- ソース選択画面で[Apple CarPlay]アイコンをタッチします。

Apple CarPlayデバイスを選択する

Apple CarPlay対応のiPhoneが2台以上登録されている場合は、Apple CarPlayソースとして使用するiPhoneを選択してください。➡「接続するデバイスを切り替える」（P. 29）を参照してください。

Apple CarPlayのホーム画面に表示される操作キーおよび利用可能なアプリ

接続されたiPhoneのアプリを使用できます。画面に表示される項目や使用される言語は、接続されたデバイスによって異なります。Apple CarPlayモードに入るには、ソース選択画面で[Apple CarPlay]アイコンをタッチします。



1

- Apple CarPlayのホーム画面を表示します。
- 長押ししてSiriを起動します。

2 アプリケーションキー

アプリケーションを起動します。

3 [HOME]

Apple CarPlay画面を終了して、HOME画面を表示します。

*：アイコンのデザインは、iOSのバージョンによって異なる場合があります。

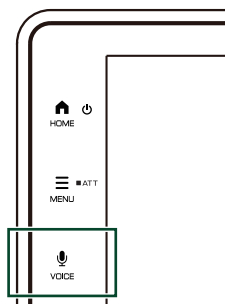
■ Apple CarPlay画面を終了するには

1 ボタンを押す

HOME画面が表示されます。

Siriを使う

Siriを起動します。

1 ボタンを押す

2 Siriに話しかける

■ 無効にするには

1 ボタンを押す

ほかのソースを聴いている状態で Apple CarPlay画面に切り替える

1 ボタンを押す2 をタッチする

3 [Apple CarPlay]をタッチする



- Apple CarPlay画面を表示したままほかのソースを聴いている場合、Apple CarPlayモードで音楽を再生すると、現在のソースがApple CarPlayソースに切り替わります。

Android Auto™ の操作

Android Auto は、運転中に便利な Android スマートフォンの機能を利用できるようにします。運転中でも、Android スマートフォンのナビ案内、通話、音楽再生、便利な機能に簡単にアクセスできます。

Android Auto の詳細については、<https://www.android.com/auto/> および<https://support.google.com/androidauto/>をご覧ください。

■ 対応 Android スマートフォン

対応する Android スマートフォンと対応したアクティブデータプランが必要です。車載ディスプレイで Android Auto をワイヤレスで使用するには、対応する Android スマートフォンとアクティブなデータプランが必要です。以下のいずれかが必要です。

1. Android 11以降および5GHz Wi-Fi（現地の規制対象*）に対応したスマートフォン、または
2. Android 10搭載の Android または Samsung スマートフォン、または
3. Android 9搭載の Samsung Galaxy S8、Galaxy S8+、または Note 8



- Android Auto はすべてのデバイスで利用できるわけではなく、すべての国や地域で利用できるわけではありません。

■ スマートフォンの置き場所について

Android Auto デバイスとして接続したスマートフォンは、GPS信号を受信できる場所に置いてください。

Google アシスタントを使用する場合は、スマートフォンのマイクが音声を拾いやすい場所に設置してください。



- ・ スマートフォンを直射日光の当たる場所やエアコンの吹き出し口付近に置かないでください。そのような場所にスマートフォンを置くと、故障や損傷の原因となることがあります。
- ・ スマートフォンを車内に放置しないでください。

Android™スマートフォンの接続

■ 有線接続

1 USB端子を使って Android スマートフォンを接続する

ハンズフリー機能を使用するには、Bluetoothで Android スマートフォンを接続してください。Android Auto 対応の Android スマートフォンをUSB端子に接続すると、自動的にBluetooth接続が行われ、現在接続されているBluetoothハンズフリー電話は切断されます。

2 Android スマートフォンのロックを解除する

3 上/下ボタンを押す

4 電源ボタンをタッチする

5 [Android Auto]をタッチする

■ ワイヤレス接続

[Device List]に登録されている Android スマートフォンを選択して、Android Auto デバイスとして使用できます。➡「Bluetoothデバイスを登録する」(P. 28)を参照してください。

1 上/下ボタンを押す

2 電源ボタンをタッチする

3 [Android Auto]をタッチする



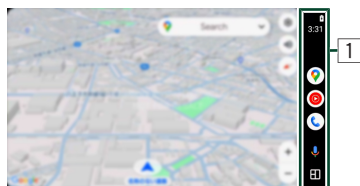
- ・ Android スマートフォンのBluetooth機能とWi-Fi機能をオンにしてください。
- ・ 2台以上の Android スマートフォンが登録されている場合は、Android Auto ソースとして使用するスマートフォンを選択してください。
- ・ Wi-Fi接続が利用できなくなると、HOME画面が表示されます。

Android スマートフォンを選択する

2台以上の Android スマートフォンが登録されている場合は、Android Auto ソースとして使用するスマートフォンを選択してください。➡「接続するデバイスを切り替える」(P. 29)を参照してください。

Android Auto 画面に表示される操作キーおよび利用可能なアプリ

接続された Android スマートフォンのアプリ操作を行います。画面に表示される項目は、接続された Android スマートフォンによって異なります。Android Auto モードに入るには、ソース選択画面で[Android Auto]アイコンをタッチします。



1 ナビゲーションバー

アプリケーションを起動するか、情報を表示します。

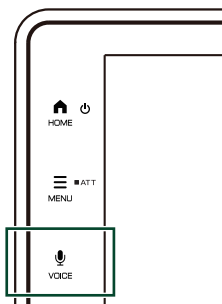
■ Android Auto 画面を終了するには

1 上/下ボタンを押す

HOME画面が表示されます。

音声コントロールの使用

1 音声ボタンを押す



2 発話を開始する

■キャンセルするには

1 ボタンを押す

ほかのソースを聴いている状態で Android Auto 画面に切り替える

1 / ボタンを押す

2 をタッチする

3 [Android Auto]をタッチする



- Android Auto 画面を表示したままほかのソースを聴いている場合、Android Auto モードで音楽を再生すると、現在のソースが Android Auto ソースに切り替わります。

ミラーリング

ミラーリング機能を使うと、iPhoneや Android スマートフォンの画面を本機のモニターに表示できます。



- ミラーリングを使用する場合は、安全な場所に駐車してください。走行中は、iPhoneや Android スマートフォンの画面が本機の表示に映りません。
- 著作権の関係で、一部のコンテンツやアプリは表示されなかったり、音声が出なかったりする場合があります。
- iPhoneや Android スマートフォンの動作がおかしい場合は、一度電源を切って再起動してみてください。

準備

1 ミラーリングアプリを (Apple) App StoreまたはGoogle Playからダウンロードする

iPhoneまたは Android スマートフォンに、最新バージョンのミラーリングアプリ「CarbitLink-EasyConnection」をインストールしてください。

2 デバイスに応じて、iPhone接続モードまたは Android 端末接続モードをミラーリングに設定する

➔「入力セットアップ」(P. 37) を参照してください。

3 USBケーブルで携帯電話を接続するか、CarbitLinkアプリでQRコードをスキャンしてワイヤレス接続を確立する



- App StoreまたはGoogle PlayのCarbitLink-EasyConnectionページで対応状況を確認してください。
- このアプリケーションはJVCKENWOODが提供しているものではありません。
- 本アプリケーションの使用に起因するお客様の損害について、故意または重過失による場合を除き、JVCKENWOODは一切の責任を負いません。

■ミラーリング操作

1 / ボタンを押す

HOME画面が表示されます。

2 をタッチする

3 [Mirroring]をタッチする

アプリ画面が表示されます。

4 iPhoneまたは Android スマートフォンを操作してミラーリング機能を起動し、本機に接続する

接続が確立すると、スマートフォンに表示されている画面と同じ画面が表示されます。



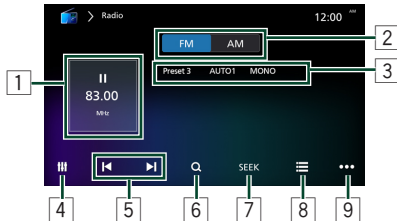
- 本機能に対応したスマートフォンでミラーリング機能を使用できます。
- スマートフォンの設定は、機種によって異なります。詳しくは、お使いのスマートフォンの取扱説明書を参照してください。
- スマートフォンがロックされている場合、ミラーリング画面が表示されないことがあります。
- 電源のオン/オフや車両から離れると、アプリが終了します。アプリを再起動するには、iPhoneまたは Android スマートフォンを操作してください。
- アプリソースが表示されている間は、Bluetoothデバイスの登録や再接続はできません。アプリソースをほかのソースに切り替えてから、Bluetoothデバイスを操作してください。

ラジオ

ラジオの基本操作

ほとんどの機能は、ソースコントロール画面から操作できます。[Radio]アイコンをソース選択画面でタッチすると、Radioソースを聴けます。

コントロール画面



1 ラジオ周波数

- ラジオ周波数を表示します。
- タッチしてラジオ音声を一時停止／出力します。

2 バンドキー

バンド（FM／AM）を切り替えます。

3 表示項目

- Preset #：プリセットラジオ局リスト内のチャンネル番号。
- AUTO1、AUTO2、MANU：シークモード
- MONO：MONOスイッチがオンのときに表示されます（ステレオ信号が弱い場合の雑音低減に選択可能）。

4 DSP

タッチしてイコライザー画面を表示します。

5 チューニング

タッチして放送局をチューニングします。周波数の切り替え方法を変更できます（[7]シークモードを参照）。

6 オートメモリー（AME）

現在のバンド内で最良の受信局を検索し、プリセットラジオ局リストに登録します。

7 シーク

タッチすると、シークモードが以下の順に切り替わります：[AUTO1]、[AUTO2]、[MANU]。

- [AUTO1]：受信状態の良い局を自動的にチューニングします。
- [AUTO2]：記憶された局を順にチューニングします。
- [MANU]：次の周波数に手で切り替えます。

8 ラジオリスト

ラジオリスト画面に入ります。

- [Preset]：記憶された放送局を呼び出します。

9 その他のボタン

タッチすると、さらに多くのボタンが表示されます：

- [設定]：タッチして設定画面を表示します。詳細については、➡「設定」（P. 27）を参照してください。
- [ダイレクトモード]：タッチして周波数手動入力キーボードを表示します。

メモリー操作

オートメモリー

受信状態の良い放送局を自動でメモリーに登録できます。

1 目的のバンドキーをタッチする



2 Q をタッチする



自動メモリーが開始されます。

手動メモリー

現在受信中の放送局をメモリーに登録できます。

1 メモリーに登録する放送局を選択する

2 目録をタッチする



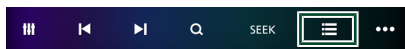
3 保存したい局の[Preset #]（FM_#:1-15、AM_#:1-5）を2秒間タッチする

選択操作

プリセット選択

記憶された放送局を一覧表示して選択できます。

1 三線をタッチする



2 呼び出す[FM#] (No.: 1~15) または[AM#] (No.: 1~5) をタッチする

ダイレクト検索

希望の周波数を入力してチューニングできます。

1 三点をタッチする



2 [ダイレクトモード]をタッチする



3 周波数を入力する



4 [OK]をタッチする



- 入力した番号をクリアするには、 をタッチします。

設定

(FMのみ)

1 三点をタッチする



2 ポップアップメニューの[設定]をタッチする



3 各機能を設定する

■ [MONO]

MONOをオンまたはオフに切り替えます。オンにすると、ラジオ局のステレオ信号が弱い場合に強制的にモノラルに切り替わります。

Bluetoothコントロール

Bluetooth機能を使用すると、オーディオファイルの再生や通話の発着信など、さまざまな機能が利用できます。

Bluetooth®デバイス使用時のご案内



Bluetoothは、スマートフォン／携帯電話、ポータブルPCなどのモバイルデバイス間で使用される近距離無線通信技術です。Bluetoothデバイスはケーブルを使わずに接続でき、相互に通信を行うことができます。



- ・運転中は、番号のダイヤルや電話帳の操作など、複雑な操作は行わないでください。これらの操作を行う場合は、安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- ・Bluetoothデバイスのバージョンによっては、本機に接続できない場合があります。
- ・本機は、一部のBluetoothデバイスでは動作しない場合があります。
- ・接続状況は、ご使用環境によって異なる場合があります。
- ・本機の電源を切ると、一部のBluetoothデバイスが切断される場合があります。
- ・Apple CarPlay使用中は、Bluetoothデバイスは使用できません。
- ・Apple CarPlay対応のiPhoneが接続されると、他のデバイスと接続中のBluetoothは切断されます。

スマートフォン／携帯電話およびBluetoothオーディオプレーヤーについて

本機は、以下のBluetooth規格に準拠しています。

- ・バージョン

- Bluetooth Ver. 5.3
- ・プロファイル
スマートフォン／携帯電話：
 - HFP (V1.7) (ハンズフリープロファイル)
 - SPP (シリアルポートプロファイル)
 - PBAP (電話帳アクセスプロファイル)
- オーディオプレーヤー：
 - A2DP (高音質音声配信プロファイル)
 - AVRCP (V1.6) (オーディオ／ビデオリモートコントロールプロファイル)
- ・サウンドコーデック
 - SBC, AAC



- ・Bluetooth機能を搭載した本機は、Bluetooth SIGが定める手順に従い、Bluetooth規格への適合認証を受けています。ただし、スマートフォン／携帯電話の機種によっては、通信できない場合があります。

Bluetooth接続におけるプライバシーおよびセキュリティに関するご注意

- ・Bluetoothデバイスをペアリングする際は、正しいデバイスとペアリングしていることを必ず確認してください。
- ・本機を譲渡・売却する場合や故障などで使用できなくなった場合は、必ずご自身でペアリングしたBluetoothデバイスの情報を削除してください。
- ・本機およびBluetoothデバイスは、常に最新のソフトウェアをご使用ください。

Bluetoothデバイスを登録する

Bluetooth機能を使用する前に、Bluetoothオーディオプレーヤーまたはスマートフォン／携帯電話を本機に登録する必要があります。Bluetoothデバイスは最大で5台まで登録できます。



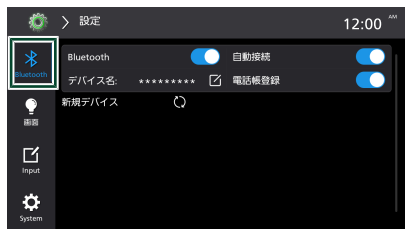
- ・最大で5台のBluetoothデバイスを登録できます。6台目のBluetoothデバイスを登録しようとする、最も早く接続されたBluetoothデバイスが削除され、6台目のデバイスが登録されます。

- ・本機はAppleのEasy Pairing機能に対応しています。iPhoneを本機に接続すると、認証ダイアログが表示されます。本機またはiPhoneで認証操作を行うと、スマートフォンがBluetoothデバイスとして登録されます。

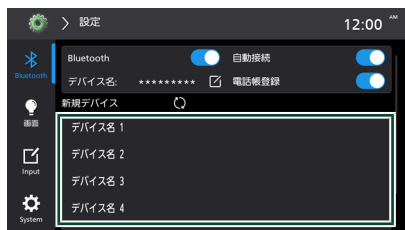
1 ホーム/⌂ボタンを押す

2 設定アイコンをタッチする

Bluetooth設定メニューが表示されます。



3 利用可能なデバイスを検索するには、[新規デバイス]をタッチする



4 リストからデバイスを選択する、またはスマートフォン／携帯電話から本機（「DMX7509XS」）を検索する

5 表示されたメッセージに従って、スマートフォン／携帯電話を操作する

接続するデバイスを切り替える

2台以上のBluetoothデバイスが登録されている場合は、使用するデバイスを選択します。

1 Bluetooth設定メニューに入るには、設定アイコンをタッチする

2 接続するデバイスのアイコンをタッチする

アイコンの色（カラーアイコンまたは白色アイコン）によって、実行可能な操作が異なります。



● [電話機]、[音楽]、[車]、[三角形]（カラーアイコン）

アイコンをタッチし、[切断]をタッチすると、デバイスの接続が解除されます。

● [電話機]（白いアイコン）

アイコンをタッチして接続方法を選択します。

・ハンズフリーフォンが1台接続されている場合：

[追加]：このデバイスをハンズフリーフォンとして追加します。

[切替]：このデバイスをハンズフリーフォンとして追加し、現在の接続に設定します。

[いいえ]：操作をキャンセルします。

・ハンズフリーフォンが2台接続されている場合：

接続されているいずれかのデバイスにタッチすると、そのデバイスが切断され、新しいデバイスがハンズフリーフォンとして接続されます。

[いいえ]：操作をキャンセルします。

● [音楽]、[車]、[三角形]（白いアイコン）

[切替]：選択したデバイスに切り替えます。

[いいえ]：操作をキャンセルします。



- ・ 接続されているデバイスの名前は青色で表示されます。
- ・ ハンズフリーフォンとしては最大で2台のデバイスを接続できます。
- ・ アイコンが点灯している場合は、本機がそのデバイスを使用することを示しています。
- ・ Bluetooth、Apple CarPlayまたはAndroid Autoの接続状況は、以下のように確認できます。

- Bluetooth：Bluetooth対応デバイスがペアリングされている場合、
：ハンズフリーフォン（緑）、
：Bluetoothオーディオ（青）
- Apple CarPlay：Apple CarPlay対応デバイスが接続されている場合、
アイコンが点灯します。
- Android Auto：Android Auto 対応デバイスが接続されている場合、
アイコンが点灯します。

- ポップアップメニューでをタッチすると、デバイスリスト画面をすばやく表示できます。
- Apple CarPlayまたは Android Auto に接続されているときにデバイス名が表示されているエリアをタッチすると、ソースがApple CarPlayまたは Android Auto に切り替わります。

■登録されているデバイスを削除するには

Bluetoothソースとして登録されているデバイスを削除できます。

1 デバイスリスト画面で[X]をタッチする



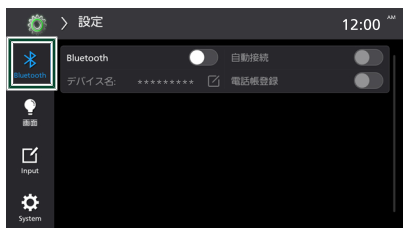
2 [削除]をタッチする

Bluetoothセッアップ

1 家/心ボタンを押す

2 設定アイコンをタッチする

Bluetooth設定メニューが表示されます。



3 [Bluetooth]の右にある丸いアイコンをタッチし、[ON]に設定する

各設定については、以下のセクションを参照してください。

- デバイス名を変更する
- [自動接続] のオン/オフを切り替えます。
- [電話帳登録]のオン/オフを切り替える

デバイス名を変更する

1 Bluetooth設定メニューでデバイス名の右にあるをタッチする

デバイス名変更画面が表示されます。

2 デバイス名を入力する



3 [決定]をタッチする

Bluetoothオーディオデバイスの再生

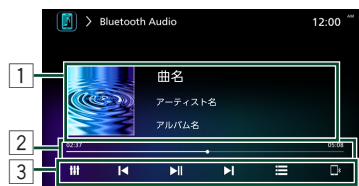
ほとんどの機能はソースコントロール画面から操作できます。Bluetoothソースを選択するには、ソース選択画面で[Bluetooth Audio]アイコンをタッチします。



- Apple CarPlay使用中は、Bluetooth オーディオソースは無効になります。
- Audio (A2DP) /App (SPP) として設定されたデバイスが Android Auto を使用している場合、Bluetoothオーディオソースは無効になります。

Bluetoothの基本操作

コントロール画面



1 トラック情報

現在のファイル情報を表示します。タグ情報がない場合は、ファイル名とフォルダー名のみが表示されます。

2 再生モード表示／再生時間

現在の再生位置を確認するための表示です。

3 操作キー

◀ ▶: 前の／次のトラック・ファイルを検索します。

▶ ||: 再生または一時停止します。

☰: タッチしてコンテンツリストを表示します。



- 画面に表示される操作キー、表示および情報は、接続されているデバイスによって異なります。
- 操作キーが表示されない場合は、プレーヤー側で操作してください。

ハンズフリーフォンの使用

Bluetooth電話を本機に接続することで、電話機能を使用できます。



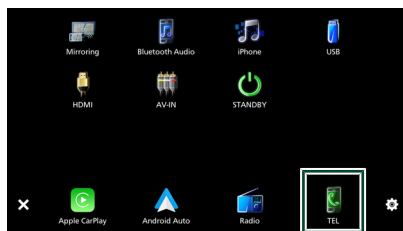
- Apple CarPlayまたは Android Auto が接続されている間は、Bluetoothのハンズフリー機能は使用できません。Apple CarPlayまたは Android Auto のハンズフリー機能のみ使用できます。

電話をかける

1 / ボタンを押す

2 をタッチする

3 [TEL]をタッチする



ハンズフリー画面が表示されます。



- スマートフォン／携帯電話がPBAPに対応している場合、接続時に電話帳や発着信履歴をタッチパネル画面に表示できます。
 - 電話帳：最大2,000件
 - 発信、着信、不在着信を含む最大100件

4 発信方法を選択する



- : 発着信履歴を使って発信する
- : 電話帳を使って発信する
- : 電話番号を入力して発信する

● 使用するスマートフォン／携帯電話を選択する

スマートフォン／携帯電話を2台接続した場合

1 使用する電話を選択するには、 をタッチする



- バッテリーやアンテナなどのステータスアイコンは、スマートフォン／携帯電話に表示されるものと異なる場合があります。
- スマートフォン／携帯電話をプライベートモードに設定すると、ハンズフリー機能が無効になる場合があります。

■ 発着信履歴を使って発信する

1 をタッチする

2 リストから電話番号を選択する



■ 電話帳を使って発信する

- 1 をタッチする
- 2 をタッチする
- 3 頭文字を選択する



- 該当する名前がない文字は表示されません。
- 「ü」のようなアクセント付きの文字は、アクセントなしの「u」で検索できます。文章内のアクセント付き文字は検索できません。
- 文字または数字で検索できます。

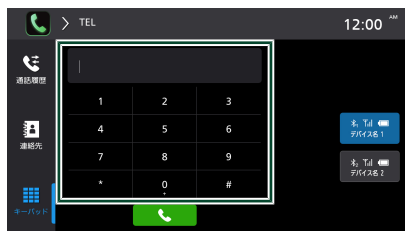
4 リストから発信したい人物または番号を選択する



■ 電話番号を入力して発信する

- 1 をタッチする

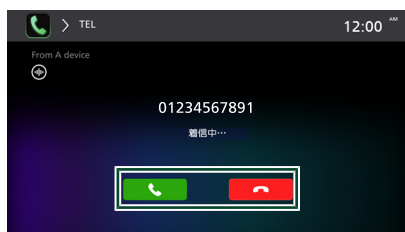
2 数字キーで電話番号を入力する



3 をタッチする

着信を受ける

- 1 電話に出るには 、着信を拒否するには をタッチする

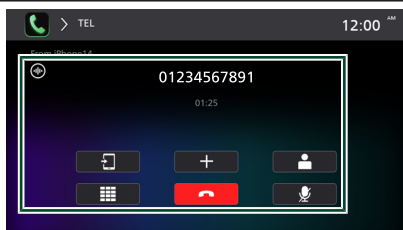


- ギアをリバース (R) に入れてリアビューカメラの映像を確認しているときは、着信があってもこの画面は表示されません。

■ 通話を終了するには

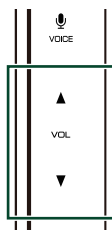
- 1 通話中に をタッチする

通話中の操作



● 受話音量を調整する

- ▲を押すと音量が大きくなり、▼を押すと小さくなります。



● 通話の音質を調整する

をタッチする

- **[エコーキャンセル]**
エコーキャンセルの値を調整します。
- **[ノイズリダクション]**
マイクの音量を変えずに、周囲の環境で発生する騒音を低減します。周りの音がうるさい場合にこの機能を使用してください。
- **[マイクゲイン]**
マイクゲインの値を調整します。

● 自分の声をミュートする

自分の声をミュート／ミュート解除するには

をタッチします。

● 通話音声出力先を切り替える

をタッチするたびに、話し声の出力先がスマートフォン／携帯電話とスピーカーの間で切り替わります。

● 通話中の通話履歴の表示

発着信履歴リストに入るには をタッチします。連絡先をタッチすると、直接セカンドコールを発信します。

● 通話中の連絡先の表示

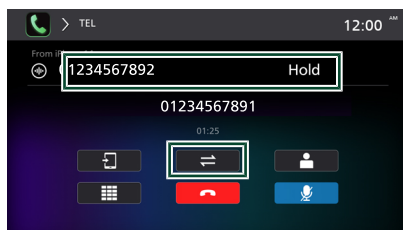
連絡先リストに入るには をタッチします。連絡先をタッチすると、直接セカンドコールを発信します。

● 発信音（トーン信号）の送出

をタッチして、発信音入力画面を表示します。画面のキーをタッチすると、発信音（トーン信号）が送出されます。

● キャッチホン

通話中に新しい着信があった場合、 をタッチすると新しい着信に応答できます。現在の通話は保留になります。発信者名または をタッチすると、通話相手が切り替わります。



をタッチすると、現在の通話が終了し、保留中の待機通話に切り替わります。

ハンズフリースettingsアップ

ハンズフリー機能の各種設定ができます。

1 / ボタンを押す

2 Bluetooth設定メニューに入るには、 をタッチする

Bluetooth SETUPメニュー画面が表示されます。



3 各機能を設定する

■ [Bluetooth]

Bluetooth機能のオン／オフを切り替えます。

■ [デバイス名]

Bluetoothデバイス名を変更するには、デバイス名の右にある をタッチします。

■ [自動接続]

以前にペアリングしたBluetoothデバイスに自動的に再接続する機能をオンにします。

■ [電話帳登録]

アドレス帳を自動的に同期するにはオンにします。

その他の外部コンポーネント

ビューカメラ

■注意

モニターに表示される駐車ガイドラインの位置は、実際の状況と異なる場合があります。実際の駐車ガイドラインを参考にし、目視で確認してください。



- リアビューカメラを使用するには、リバース検出コードの接続が必要です。
- [Rear Camera Interruption]が有効な場合、ギアをリバース (R) に入れるとカメラ画面が表示されます。
- 最後に表示されたカメラの映像が保持され、次回も同じカメラ映像が表示されます。割り当て設定が変更されると、リアビューカメラの映像が表示されます。
- リアビューカメラ割り込み画面は、次回表示されるカメラ画面としては保持されません。

カメラ画面を表示する

- 1 三ノ/[ATT]ボタンを押す
- 2 ポップアップメニューが表示されます。
- 3 [カメラ]をタッチする



カメラ表示画面が表示されます。

- 4 次のように選択する



1 戻るキー

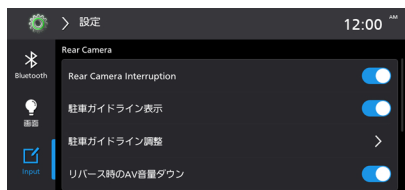
カメラ画面を終了するにはタッチします。

2 カメラ切り替えキー

リアビューカメラとAV-INカメラを切り替えるにはタッチします。「AV Input」を「Camera」に設定する必要があります。➡「入力セットアップ」(P. 37) を参照してください。

カメラセットアップ

- 1 家ノ/電源ボタンを押す
- 2 設定ノをタッチする
SETUPメニュー画面が表示されます。
- 3 入力設定ノをタッチする
入力設定メニューが表示されます。



■[Rear Camera Interruption]

- オン：リバース時に自動でカメラ画面を表示します。
- オフ：リバース時にカメラ画面は自動で表示されません。

■[駐車ガイドライン表示]

駐車ガイドラインの表示／非表示を切り替えます。

■[駐車ガイドライン調整]

タッチして駐車ガイドラインの設定画面に入ります。駐車ガイドラインがオフの場合、ガイドラインセットアップは無効になります。「駐車ガイドライン調整」(P. 34) を参照してください。

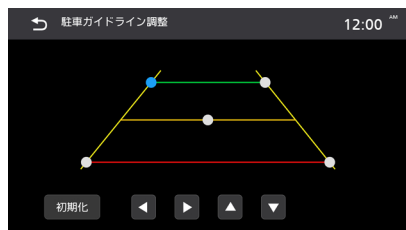
■[リバース時のAV音量ダウン]

リバース時のアッテネーターのオン／オフを切り替えます。

- オン：ギアをリバース (R) に入れると、自動的にオーディオの音量を下げます。

駐車ガイドライン調整

入力設定メニューで[駐車ガイドライン調整]をタッチすると、駐車ガイドライン設定画面に入ります。



- 1 小さな点をタッチすると、現在選択されている軌道ラインがハイライト表示される
- 2 選択したガイドラインを調整するには、    キーをタッチする



・ [初期化]: タッチしてリセットする

外部オーディオ／ビデオプレーヤー (AV-IN)

- 1 外部コンポーネントをAVオーディオ入力およびビデオ入力端子に接続する
- 2 ソース選択画で[AV-IN]を選択する
- 3 接続したコンポーネントの電源を入れ、ソースの再生を開始する



・ AV-INソースを選択するには、➡「入力セットアップ」(P. 37)で「AV Input」を「AV-IN」に設定する必要があります。

HDMIソース

- 1 スマートフォンをHDMI入力端子に接続する
HDMIケーブル（別売）を使用します。
- 2 ソース選択画で[HDMI]を選択する
- 3 スマートフォンでアプリを起動するか、再生を開始する

セットアップ

- 1  ボタンを押す
- 2  をタッチする



各設定については、以下のセクションを参照してください。

- Bluetoothをセットアップする
- ディスプレイをセットアップする
- 入力をセットアップする
- システムをセットアップする

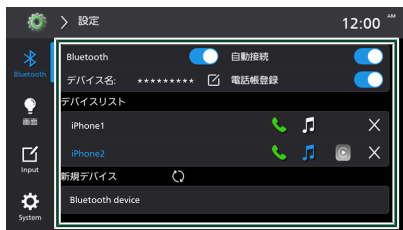
Bluetoothセットアップ

接続およびAVパラメータの設定ができます。

- 1  ボタンを押す
- 2  をタッチする

Bluetooth SETUPメニュー画面が表示されます。

- 3 各項目を設定する



■ [Bluetooth]

Bluetooth機能のオン/オフを切り替えます。

■ [デバイス名]

Bluetoothデバイス名を変更するには、デバイス名の右にある  をタッチします。
→ 「デバイス名を変更する」(P. 36)を参照してください。

■ [自動接続]

以前にペアリングしたBluetoothデバイスに自動的に再接続する機能をオンにします。

■ [電話帳登録]

アドレス帳を自動的に同期するにはオンにします。

■ [デバイスリスト]

切断/削除するデバイスを選択します。

■ [新規デバイス]

ペアリングするデバイスを選択します。

デバイス名を変更する

- 1 Bluetooth設定メニューでデバイス名の右にある  をタッチする
デバイス名変更画面が表示されます。
- 2 デバイス名を入力する



- 3 [決定]をタッチする

ディスプレイセットアップ

- 1  ボタンを押す
- 2  をタッチする
SETUPメニュー画面が表示されます。
- 3  をタッチする
セットアップメニュー画面が表示されます。
- 4 各設定を調整する



■ 壁紙

壁紙を選択します。

■ HOME デザイン

HOME画面モードを選択します。

■ 時計表示

時計のデザインを選択します。

● 映像調整

■ [ディマー]

ディマーモードを選択します。

- ・ イルミ連動：車両ライトコントロールスイッチに連動してディマー機能がオン/オフします。
- ・ ON：ディスプレイとボタンを暗くします。
- ・ OFF：ディスプレイとボタンを暗くしません。

■ [明るさ] / [コントラスト] / [色の濃さ]

各設定を調整します。

● その他

■ [店頭デモ]

オン：30秒間画面の操作がないと、デモモードを表示します。

■ [運転席位置]

Apple CarPlayまたは Android Auto を左ハンドル/右ハンドルモードに切り替えます。



- ・ 調整できる設定は、現在のソースによって異なります。
- ・ ポップアップメニューの「映像調整」をタッチして画面にアクセスすることもできます。

入力セットアップ

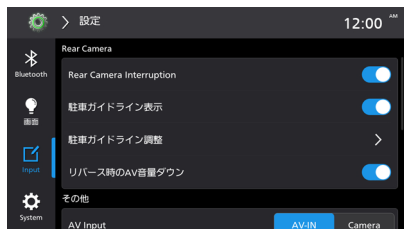
1 1/2 ボタンを押す

2 設定アイコンをタッチする

SETUPメニュー画面が表示されます。

3 入力アイコンをタッチする

入力セットアップメニューが表示されます。



● リアカメラ

■ [Rear Camera Interruption]

- ・ オン：リバース時に自動でカメラ画面を表示します。
- ・ オフ：リバース時にカメラ画面は自動で表示されません。

■ [駐車ガイドライン表示]

駐車ガイドラインの表示/非表示を切り替えます。

■ [駐車ガイドライン調整]

タッチして駐車ガイドラインの設定画面に入ります。駐車ガイドラインがオフの場合、ガイドラインセットアップは無効になります。

■ [リバース時のAV音量ダウン]

リバース時のアッテネーターのオン/オフを切り替えます。

- ・ オン：ギアをリバース (R) に入れると、自動的にオーディオの音量を下げます。

● その他

■ [AV Input]

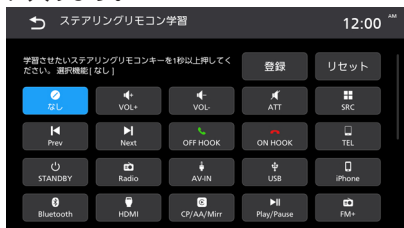
- ・ [AV-IN]：外部AVデバイスを接続している場合に選択します。
- ・ [Camera]：接続されたカメラの映像を表示する場合に選択します。

■ [AV-INカメラの鏡像設定]

AV-INカメラの映像を鏡像表示するかどうかを設定します。「AV Input」が「AV-IN」に設定されている場合、このオプションは無効になります。

■ [ステアリングリモコン学習]

タッチしてステアリングリモコン学習画面に入ります。



画面上の機能ボタンをタッチし、その後、車両のステアリングリモコンの対象ボタンを1秒以上押します。

[登録]をタッチして設定を保存します。
[リセット]をタッチして設定をリセットします。

■ [iPhone接続モード]

有線接続でApple CarPlayを使用するかミラーリングを使用するかを選択します。^[1]

■ [Android端末接続モード]

有線接続でAndroid Autoを使用するかミラーリングを使用するかを選択します。^[1]

^[1] いずれかが接続されていると、デバイスはミラーリング、Apple CarPlay、Android Autoの間で切り替えることができません。

システムセットアップ

システムパラメータのセットアップができます。

- 1  ボタンを押す
- 2  をタッチする
SETUPメニュー画面が表示されます。
- 3  をタッチする
システム設定メニューが表示されます。
- 4 各項目を設定する



● 時刻設定

■ [24H フォーマット]

24時間表示形式を有効にするには、機能をオンにします。

● システム情報

■ [言語]

ポップアップメニューからシステム言語を選択する

■ [MCU Version] / [MPU Version]

現在のソフトウェアバージョンを表示します。

■ [シリアル番号]

製品製造番号を表示します。

■ [モデル名]

モデル名を表示します。

■ [システムの初期化]

システムを初期状態にリセットします。

■ [Open Source Licenses]

オープンソースライセンスを表示します。

オーディオのコントロール

オーディオバランスやサブウーファーレベルなど、さまざまな設定を調整できます。

- 1  / [ATT] ボタンを押す
- 2 [DSP] をタッチする



各設定については、以下のセクションを参照してください。

- スピーカー/クロスオーバーをセットアップする
- イコライザーを調整する
- ポジション / DTAを設定する
- バランス/フェーダーを調整する
- ソースの音量レベルを設定する
- 音量調整を設定する
- サウンドエフェクトを設定する
- オーディオメモリーを使用する

3ウェイスピーカーシステムセットアップ

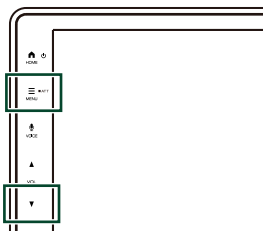
使用するスピーカーシステムに応じて、適切なクロスオーバーネットワークモード（2ウェイまたは3ウェイスピーカーシステム）を選択します。

■ 注意

- 2ウェイモードを選択した状態で3ウェイスピーカーを接続すると、スピーカーが破損するおそれがあります。

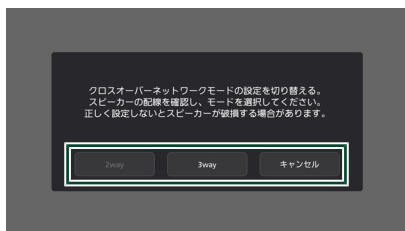
- 1  ボタンを押す
HOME画面が表示されます。
- 2  をタッチする
ソース選択画面が表示されます。
- 3 [STANDBY] をタッチする

4 ▼ボタンを押したあと、≡/[ATT]ボタンを2秒間同時に押す



スピーカーシステム選択画面が表示されます。

5 クロスオーバーネットワークモードを選択する



確認画面が表示されます。

6 [はい]をタッチする



- 3ウェイスピーカーシステムを選択すると、以下の機能が無効になります。
 - フェーダー/バランスコントロールのフェーダー
 - サウンドエフェクトの操作音
- ペアリングされた電話で通話中や音声認識機能使用中は、スピーカーシステムを切り替えることができません。

スピーカー / クロスオーバーセッティング

1 ≡/[ATT]ボタンを押す

2 [DSP]をタッチする

オーディオ画面が表示されます。

3 [スピーカー/クロスオーバー]をタッチする

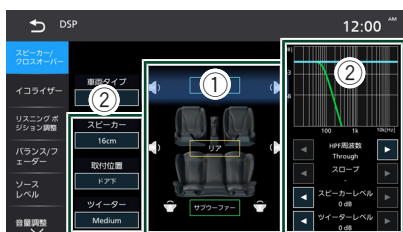
4 車種を選択する

車種やスピーカーネットワークなどを選択できます。

車種を選択すると、最適なサラウンド効果を得るために、各チャンネルの音声出力のタイミング調整用にディレイタイムアライメントが自動的に有効になります。



5 調整したいスピーカーの①をタッチし、各項目②を設定する



■ [スピーカー]

最適な音響効果を得るために、スピーカーの種類とサイズを選択できます。スピーカーがない場合は、「なし」を選択します。スピーカーの種類とサイズを選択すると、スピーカークロスオーバーネットワークが自動的に設定されます。

■ [取付位置] (フロント、リアのみ)

設置したスピーカーの位置を選択します。

■ [ツイーター] (フロントのみ)

フロントスピーカーを選択する際に、ツイーターの設定ができます。

なし、Small、Medium、Large

■ [HPF周波数] (フロント、リアのみ)

ハイパスフィルターの調整。

■ [LPF周波数] (サブウーファーのみ)

ローパスフィルターの調整。

■ [スロープ]

クロスオーバースロープを設定します。

■ [スピーカーレベル]

フロントスピーカー、リアスピーカー、またはサブウーファーのゲインを調整します。

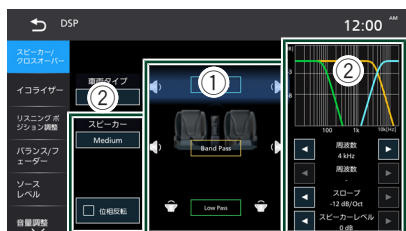
■ [ツイーターレベル] (フロントのみ)

ツイーターレベルを調整します。

■ [位相反転] (サブウーファーのみ)

サブウーファー出力の位相を設定します。
[位相反転]にチェックを入れると、位相が180度ずれます。

■ スピーカーネットワークが3ウェイに設定されている場合：



■ [スピーカー]

最適な音響効果を得るために、スピーカーの種類とサイズを選択できます。スピーカーがない場合は、「なし」を選択します。スピーカーの種類とサイズを選択すると、スピーカークロスオーバーネットワークが自動的に設定されます。

■ [周波数] (ハイパス)

ハイパスフィルターの調整。(ハイパスのみ)

■ [周波数] (ローパス)

ローパスフィルターの調整。(ローパスのみ)

■ [HPF周波数]、[LPF周波数] (バンドパスのみ)

バンドパスフィルターの調整。

■ [スロープ]^{[1][2]}

クロスオーバースロープを設定します。

■ [スピーカーレベル]

各スピーカーのゲインを設定します。

■ [位相反転]

ツイーター、ミッドレンジ、ウーファー出力の位相を設定します。[位相反転]にチェックを入れると、位相が180度ずれます。

[1] 「LPF 周波数」 / 「HPF 周波数」 (バンドパス) が「Through」以外のモードに設定されている場合のみ適用されます。

[2] 「周波数」 (ローパス) が「Through」以外のモードに設定されている場合のみ適用されます。

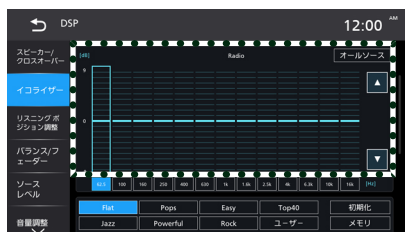


- 3ウェイスピーカーシステムへの切り替え方法については、➡「3ウェイスピーカーシステムセットアップ」(P. 38)を参照してください。

イコライザーコントロール

各カテゴリーの最適設定を選択してイコライザーを調整できます。

- 1 ミ/[ATT]ボタンを押す
- 2 [DSP]をタッチする
オーディオ画面が表示されます。
- 3 [イコライザー]をタッチする
- 4 画面をタッチして、グラフィックイコライザーを希望の設定にする



■ ゲインレベル (点線枠内エリア)

各周波数バーをタッチしてゲインレベルを調整します。周波数バーを選択し、▲、▼でレベルを調整できます。

■ [オールソース]

調整したイコライザーカーブをすべてのソースに適用します。[オールソース]をタッチし、確認画面で[OK]をタッチします。

■ [メモリ]

調整したイコライザーカーブを「ユーザー」として保存します。

■ [初期化]

現在のイコライザーカーブを初期化 (フラット化) します。

■ [Bass EXT] (バス拡張設定)

オンにすると、62.5 Hz以下の周波数が同じゲインレベル (62.5 Hz) に設定されます。

■ [サブウーファーレベル]

サブウーファーの音量を調整します。サブウーファーが「なし」に設定されている場合、この設定は利用できません。スピーカー / クロスオーバーセットアップを参照してください。

■ [Flat] / [Pops] / [Easy] / [Top40] / [Jazz] / [Powerful] / [Rock] / [ユーザー]

プリセットされたEQカーブを呼び出します。

リスニングポジション／DTA

選択した座席に座っているリスナーに、異なるスピーカーからの音が同時に届くように音の遅延時間を調整します。

- 1 **≡／[ATT]ボタンを押す**
- 2 **[DSP]をタッチする**
オーディオ画面が表示されます。
- 3 **[リスニング ポジション調整]をタッチする**



- 4 **[フロント右] (右前)、[フロント左] (左前)、[フロントオール] (前方全体)*、および[オール]からリスニングポジションを選択する**

● 2ウェイ



● 3ウェイ



* 2ウェイモードのみ

■ ポジションDTAコントロール

リスニングポジションを微調整できます。

- 1 **[調整]をタッチする**
- 2 **[ディレイ]をタッチする**

- 3 **選択したスピーカーの遅延時間を調整するには、[◀]または[▶]をタッチする**

● 2ウェイ



● 3ウェイ



- 4 **[レベル]をタッチする**
- 5 **選択したスピーカーの音量を調整するには、[◀]または[▶]をタッチする**

● 2ウェイ



● 3ウェイ

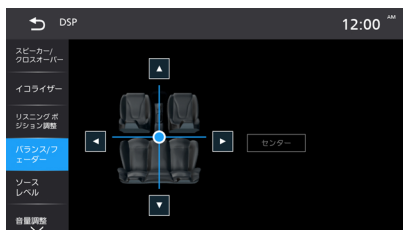


・ ディレイおよびレベル設定を初期化するには、[初期化]をタッチし、確認画面で[OK]をタッチします。

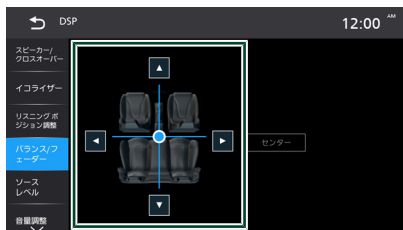
フェーダー／バランスコントロール

スピーカー間の音量バランスを調整できます。

- 1 三/[ATT]ボタンを押す
- 2 [DSP]をタッチする
オーディオ画面が表示されます。
- 3 [バランス／フェーダー]をタッチする



- 4 音量バランスを調整するには、◀、▶、▲、および▼をタッチする



◀と▶は左右の音量バランスを調整します。

▲と▼は前後の音量バランスを調整します。

■[センター]

調整をクリアします。



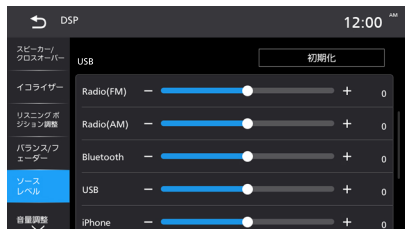
- ・ 3ウェイスピーカーシステムが選択されている場合、「フェーダー」の調整は無効になります。

ソースの音量レベル設定

異なるソース間の音量差を最小限にするために、現在のソースの音量を細かく調整します。

- 1 三/[ATT]ボタンを押す
- 2 [DSP]をタッチする
オーディオ画面が表示されます。
- 3 [ソースレベル]をタッチする

- 4 レベルを調整するには、[+]または[-]をタッチする



■[初期化]

初期設定に戻ります。

[初期化]をタッチし、確認画面で[OK]をタッチします。



- ・ 先に音量を上げた場合は、「ソースレベル」を使って音量を下げてください。現在のソースから別のソースに急に切り替えると、非常に大きな音が出る場合があります。

音量調整

各再生ソースの起動音量を設定します。

- 1 三/[ATT]ボタンを押す
- 2 [DSP]をタッチする
オーディオ画面が表示されます。
- 3 [音量調整]をタッチする
- 4 レベルを調整するには、[+]または[-]をタッチする



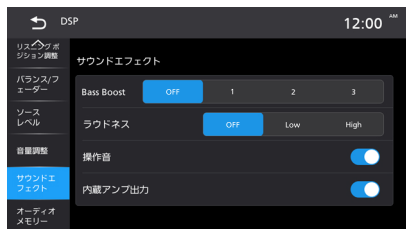
サウンドエフェクト

サウンドエフェクトを設定できます。

- 1 三/[ATT]ボタンを押す
- 2 [DSP]をタッチする
オーディオ画面が表示されます。

3 [サウンドエフェクト]をタッチする

4 各項目を設定する



■ [Bass Boost]

バスブーストの量を設定します。

「OFF」 / 「1」 / 「2」 / 「3」

■ [ラウドネス]

低音および高音のブースト量を設定します。

「OFF」、 「Low」、 「High」

■ [操作音]

タッチしてキー操作音をオフまたはオンに切り替えます。

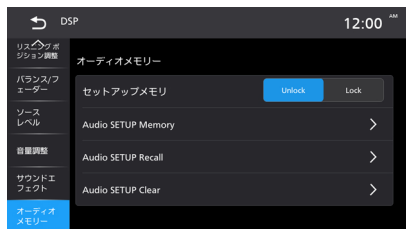
■ [内蔵アンプ出力]

タッチして内蔵アンプをオフまたはオンに切り替えます。

オーディオメモリー

オーディオセットアップのメモリーを設定します。

- 1 三/[ATT]ボタンを押す
- 2 [DSP]をタッチする
オーディオ画面が表示されます。
- 3 [オーディオメモリー]をタッチする
- 4 各項目を設定する



■ [セットアップメモリ]

オーディオセットアップメモリ/呼び出し/クリアのロックまたはロック解除します。

■ [Audio SETUP Memory]

現在のオーディオ設定を記憶します。

■ [Audio SETUP Recall]

記憶したオーディオ設定を呼び出します。

■ [Audio SETUP Clear]

オーディオセットアップメモリと現在記憶されているオーディオ設定をクリアします。

接続／取り付け

このセクションは専門の取付業者向けです。
安全のため、配線や取り付けは専門業者にご依頼ください。カーオーディオ販売店にご相談ください。

取り付けの前に

本機を取り付ける前に、次の注意事項をお読みください。

■警告

- アクセサリ電源コード（赤）およびバッテリー電源コード（黄）を車のシャーシ（アース）に接続すると、ショートして火災の原因となるおそれがあります。これらのコードは必ずヒューズボックスを経由する電源に接続してください。
- アクセサリ電源コード（赤）およびバッテリー電源コード（黄）からヒューズを外さないでください。電源は必ずヒューズを介してコードに接続してください。

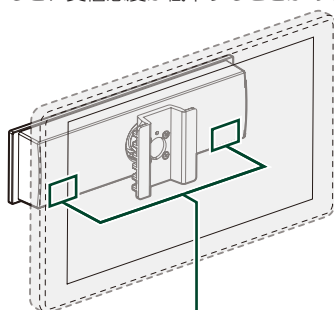
■注意

- 本機は車両のコンソールに取り付けてください。
本機の使用および使用直後は、本機の金属部分に触れないでください。放熱板や筐体などの金属部分は高温になります。

注

- 本機の実取り付けおよび配線には、技術と経験が必要です。安全のため、取り付けおよび配線作業は専門業者にご依頼ください。
- 運転の妨げになる場合は、本機を取り付けしないでください。
- 運転の妨げにならないようにパネルの位置を調整してください。
- 本機は必ずマイナス12V DC電源にアース接続してください。
- 直射日光が当たる場所や、高温・多湿になる場所には本機を取り付けしないでください。また、ほこりが多い場所や水がかかるおそれのある場所も避けてください。
- ご自身で用意されたネジは使用しないでください。付属のネジのみを使用してください。誤ったネジを使用すると、本機を破損するおそれがあります。

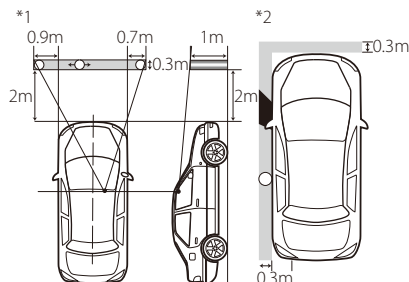
- お使いの車にACC位置がない場合は、エンジンキーでオン／オフできる電源にアクセサリ電源コードを接続してください。アクセサリ電源コード（赤）をバッテリー電源コード（黄）のような常時電圧が供給される電源に接続すると、バッテリーが上がるおそれがあります。
- コンソールにフタがある場合、正しく本機を取り付けてもフタを閉めることはできません。
- ヒューズが切れた場合は、まずコード同士が接触してショートしていないことを確認し、同じ定格のヒューズに交換してください。
- 接続していないコードはビニールテープなどで絶縁してください。ショートを防ぐため、接続していないコードや端子の先端に付いているキャップは外さないでください。
- スピーカーコードは、対応する端子に正しく接続してください。⊖コードを共用したり、車両の金属部分にアースしたりすると、本機が故障したり正常に動作しなくなったりするおそれがあります。
- スピーカーを2つだけ接続する場合は、コネクターをフロント出力端子の両方またはリア出力端子の両方に接続してください（フロントとリアを混在させないでください）。たとえば、左スピーカーの⊕コネクターをフロント出力端子に接続した場合は、⊖コネクターをリア出力端子に接続しないでください。
- 本機の実取り付け後は、車両のブレーキランプ、ウインカー、ワイパーなどが正常に動作するか確認してください。
- 取り付け角度が30°以下になるように本機を取り付けてください。
- 本機を車両に取り付ける際は、パネル面を強く押さないでください。傷や破損、故障の原因となるおそれがあります。
- Bluetooth／Wi-Fiアンテナの近くに金属物があると、受信感度が低下することがあります。



Bluetooth／Wi-Fiアンテナユニット

● 前方および側方の視界

- 通常の条件下で運転者の前方および側方の視界を確認するには、前方から直接見える、または車両のルームミラー越しに見える位置にポールを図のように設置してください。



- : ポール (高さ: 1 m、直径: 0.3 m)
 - : 運転席からの視界
 - : 除外エリア (ポールのサイズは規制に従います)
- 左ハンドル車の場合は、基準が反転します。
- [1] ポールは運転者の位置から直接前方視界として見える必要があります。
- [2] ポールは運転者の位置から、直接またはミラーなどを通して間接的に見える必要があります。

取付用付属品

注: この部品表には、パッケージ内容のすべては記載されていません。

①	電源ハーネス	×1
②	マイクユニット (3 m)	×1
③	トラス頭ネジ (M5×8 mm)	×4
④	皿ネジ (M5×8 mm)	×4

⑤	セムスネジ (M4×8 mm)	×1
⑥	GPSアンテナ (3 m)	×1
⑦	ディスプレイユニット	×1
⑧	ステアリングリモコンケーブル	×1

取り付け手順

- ショートを防ぐため、エンジンキーを抜き、バッテリーの⊖端子を取り外してください。
- 本機取り付けおよび端子への配線接続を行うために、車両の部品を取り外してください。
- 各ユニットに対して、適切な入出力コードの接続を行ってください。
- 電源ハーネスのコネクターを本機に接続してください。
- 本機を車両に取り付けてください。本機が確実に取り付けられていることを確認してください。本機が不安定な状態では、正常に動作しないおそれがあります。
- 車両の部品を元に戻してください。
- バッテリーの⊖端子を再接続してください。
- 初期セットアップを実行します。
➡「初期セットアップ」(P. 10)を参照してください。

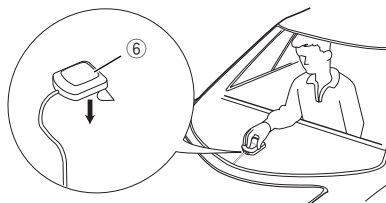
付属品の取り付け

GPSアンテナ

GPSアンテナは車内に取り付けます。GPS衛星の信号を受信しやすくするため、できるだけ水平に取り付けてください。

- ダッシュボードやその他の設置面をきれいにしてください。

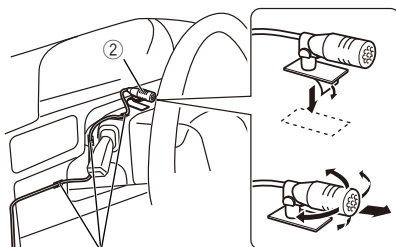
- GPSアンテナ（付属品⑥）の剥離紙をはがし、ダッシュボードやその他の設置面に貼り付けてください。



- 付属のGPSアンテナを使用してください。付属のもの以外のGPSアンテナを使用すると、測位精度が低下するおそれがあります。
- 車種によっては、車内取り付けではGPS衛星の信号を受信できない場合があります。
- 付属のGPSアンテナは、CB無線や衛星テレビで使用されるアンテナから離れた場所に取り付けてください。
- 付属のGPSアンテナは、携帯電話やその他の送信アンテナから少なくとも30cm離れた位置に取り付けてください。GPS衛星からの信号は、これらの通信により干渉を受けることがあります。
- 付属のGPSアンテナを（金属系）塗料で塗装すると、性能が低下するおそれがあります。

マイクユニット

- マイク（付属品②）の取付位置を確認してください。
- 取付面をきれいにしてください。
- マイク（付属品②）の剥離紙をはがし、ステアリングコラム上にマイクを貼り付けてください。
- マイクケーブルを本機まで配線し、テープなどで数か所固定してください。
- マイク（付属品②）の向きを運転者に向けて調整してください。



市販のテープでコードを固定してください。



- 取り付け方に合わせて、もう一方のクリップをご使用ください。



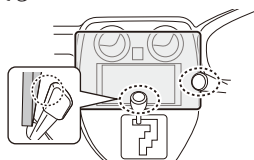
本機の取り付け

ディスプレイユニットの取り付け位置を確認する

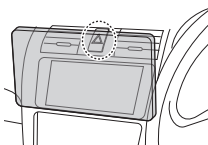
● 取り付けられない車両について

以下のような車両には取り付けられません。ただし、ディスプレイユニットの高さ調整で次の点を回避できれば、取り付け可能な場合があります。

- 本機を取り付けると、シフトレバー、ワイパーレバー、ウインカーレバーなどの操作が妨げられる

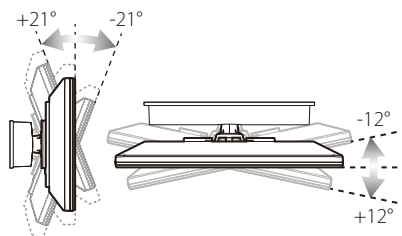


- 運転席からハザードスイッチが隠れて見えない

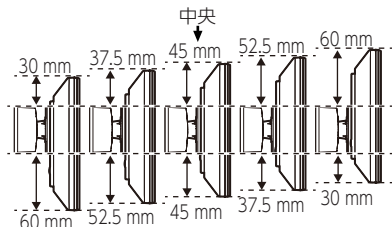


● ディスプレイユニットの調整および取り付け寸法

- 垂直チルト： $\pm 21^\circ$ 、水平チルト： $\pm 12^\circ$



- 高さ調整：中央（45 mm）から±15 mm



■ 注意

- 下記の回転方向には回さないでください。無理に回転させると故障の原因となります。



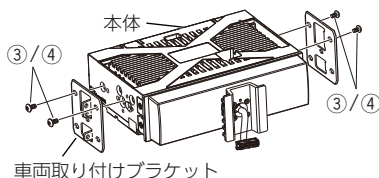
本体の取り付け



- 本機が確実に取り付けられていることを確認してください。本機が不安定な状態では、正常に動作しないおそれがあります。

1 車両のパネルなど、取り付けの妨げとなる部品を取り外す

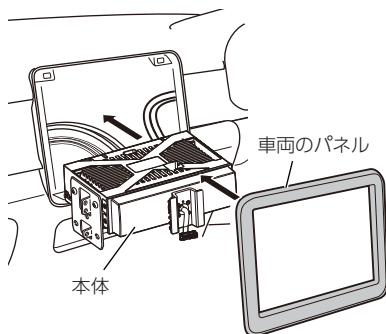
2 車両取り付けブラケットを本体に取り付ける



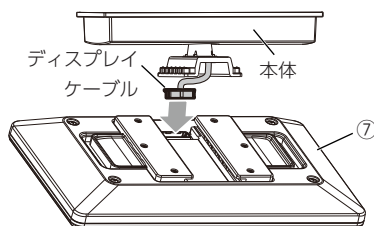
3 電源ハーネスのコードおよび周辺機器を接続する

4 本体を車両に取り付ける

5 取り外した車両のパネルなどの部品を元に戻す

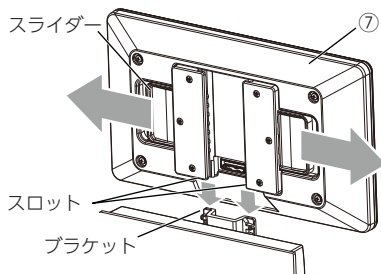


6 ディスプレイケーブルを接続する



7 ディスプレイユニット（付属品⑦）を本体に取り付ける

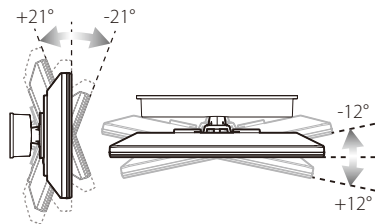
取り付ける際は、ディスプレイユニット背面の両スライダーを横に引きながら、本体のブラケットとディスプレイユニットのスロットを合わせてください。



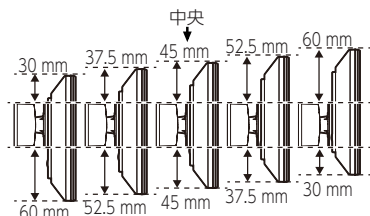
- ディスプレイユニットを取り付ける際、表示ケーブルがスロットとブラケットの間に挟まらないよう注意してください。ケーブルが挟まった状態で無理に本機を差し込むと、本機を破損するおそれがあります。

8 ディスプレイユニットの高さと角度を調整する

- 垂直チルト： $\pm 21^\circ$ 、水平チルト： $\pm 12^\circ$

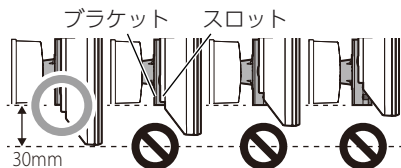


- 高さ調整：中央（45 mm）から ± 15 mm

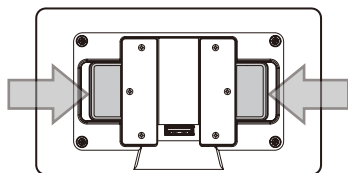


■注意

- 使用時はディスプレイユニットの下端が本体/パネルから少なくとも30 mm離れていることを確認してください。
ディスプレイユニットが落下するおそれがあるため、両者の距離が30 mm未満（ブラケットがスロットから見える位置）では使用しないでください。



- ディスプレイユニット背面のスライダが元の位置に戻っていることを確認してください。ギアがずれているとスライダは元の位置に戻りません。



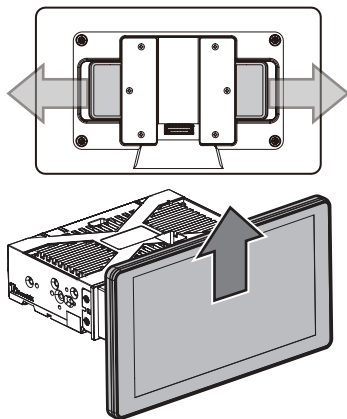
ディスプレイユニットの取り外し

■注意

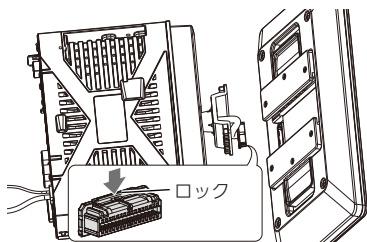
- ディスプレイユニットと本体はケーブルで接続されています。ケーブルを傷めないよう、ディスプレイユニットを注意深くゆっくりとスライドさせてください。

1 ディスプレイユニットを本体から取り外す

ディスプレイユニット背面のスライダを横に引きながら、ディスプレイユニットを本体から外すために上方向にスライドさせてください。

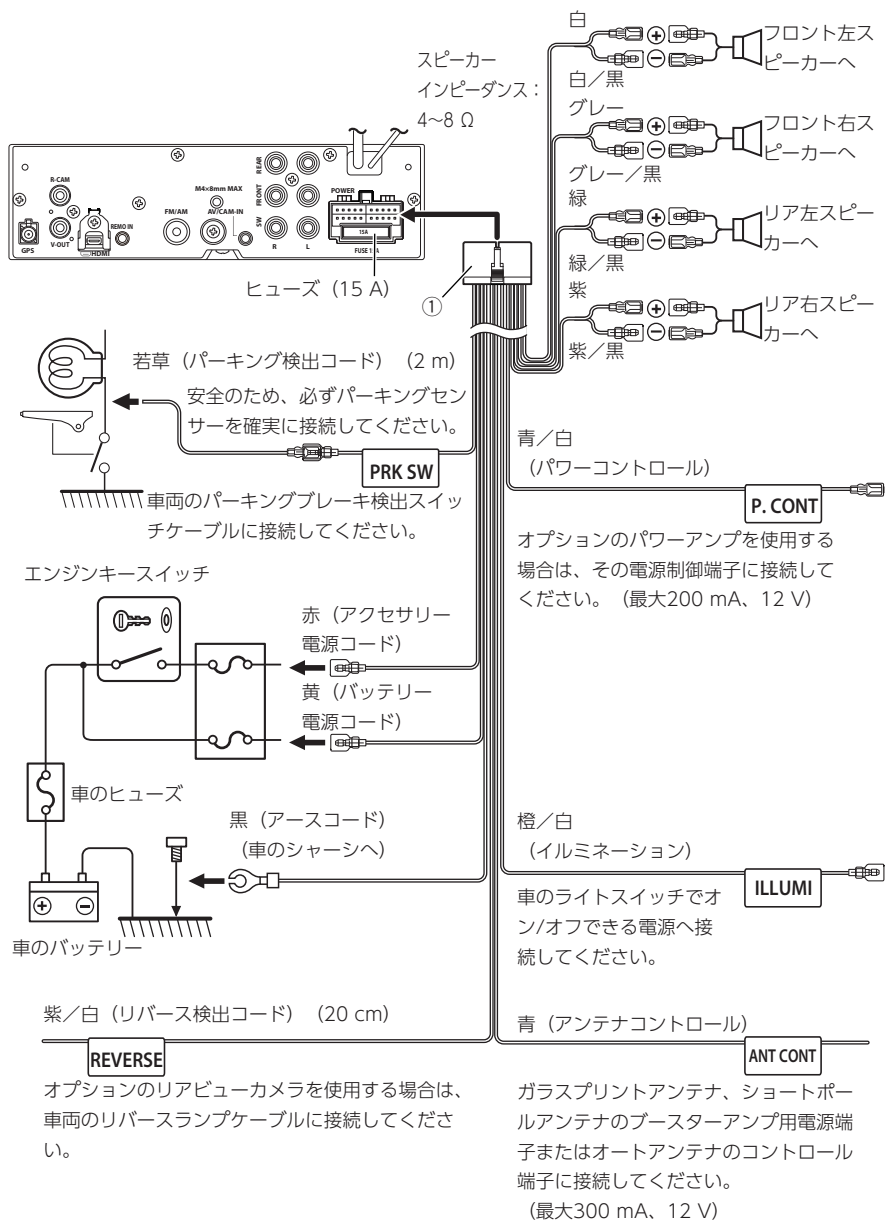


2 表示ケーブルロックを押しながらケーブルを取り外す

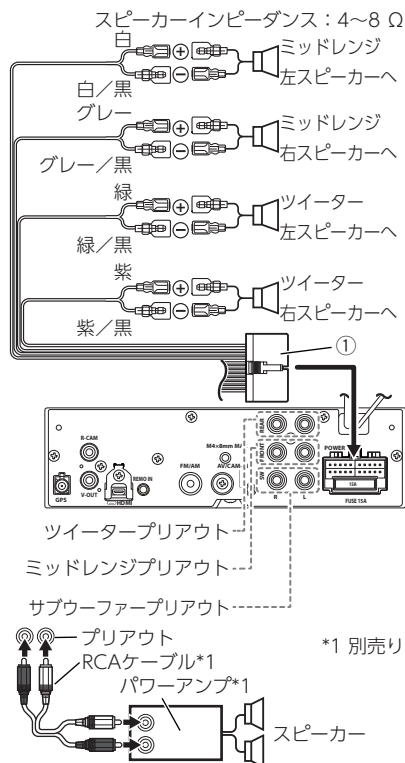


本機の接続

電源ハーネスの接続

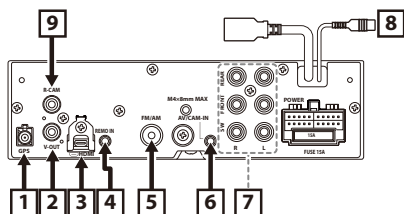


3ウェイスピーカーシステムセットアップ

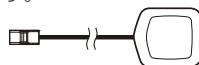


- 外部アンプに接続する場合は、本機の破損を防ぐため、アンプのアース線を車両のシャシーに接続してください。
- 3ウェイスピーカーシステムへの切り替え方法については、➡「3ウェイスピーカーシステムセットアップ」(P. 38) を参照してください。
- スピーカーセットアップおよびクロスオーバーセットアップについては、➡「スピーカー / クロスオーバーセットアップ」(P. 39) をご参照ください。
- スピーカー端子およびプリアウト端子以外の端子へのスピーカーコードの接続方法については、➡「システムおよび外部機器の接続」(P. 50) および ➡「電源ハーネスの接続」(P. 49) をご参照ください。

システムおよび外部機器の接続



- 付属品⑥：GPSアンテナ
付属のGPSアンテナを使用してください。付属のもの以外のGPSアンテナを使用すると、測位精度が低下するおそれがあります。

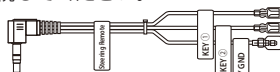


- 映像出力 (黄)
映像はUSB (ビデオファイル) ソースからのみ出力できます。

- HDMI入力 (Type-D)
HDMI入力端子にKNA-20HC (別売品) を接続してください。



- 付属品⑧：ステアリングリモコンケーブル
車両のステアリングリモコンハーネスに接続してください。



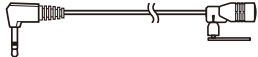
ステアリングリモコンの対応車両と接続方法については、以下のウェブサイトでご確認ください。

<https://www.kenwood.com/jp/car/option/cables/model-by-steering-remote-cable/>



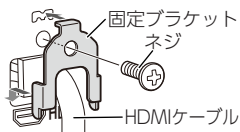
- FM/AMアンテナ入力



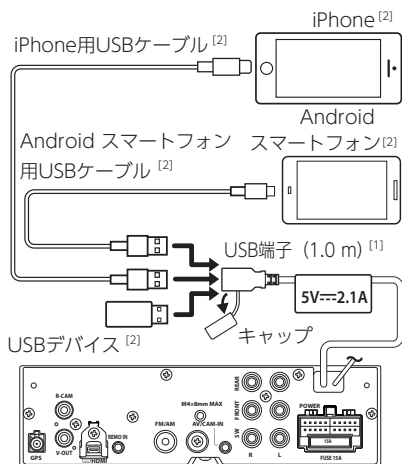
[6]	このジャックはAV-INまたはフロントビューカメラの入力に対応しています。詳細については、➡「入力セットアップ」(P. 37)を参照してください。 3.5 mm 4極ミニプラグ (1: 左音声、2: 映像、3: アース、4: 右音声) 
[7]	外部アンプに接続する場合は、本機の破損を防ぐため、アンプのアース線を車両のシャーシに接続してください。 リアオーディオリアウト (左: 白、右: 赤) フロントオーディオリアウト (左: 白、右: 赤) サブウーファリアウト (左: 白、右: 赤)
[8]	付属品②: マイク 
[9]	リアビューカメラ入力 (黄)

■固定ブラケットの取り付け／取り外し

ケーブルをHDMI端子に接続する際は、固定ブラケットを取り外してください。ケーブルを接続したら、再度固定ブラケットを取り付けてください。



USBデバイス／iPhone／Android™の接続

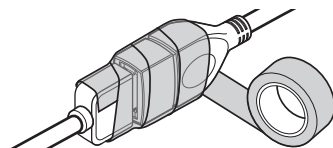


[1] USB最大供給電流: DC 5 V ≐ 2.1 A

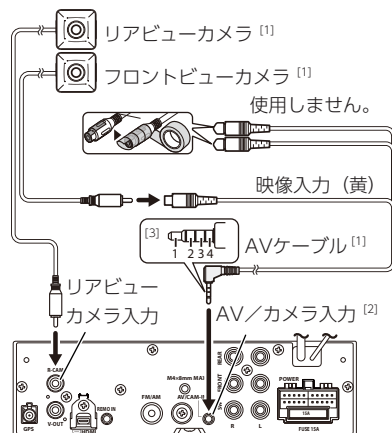
[2] 別売りです。

■USB延長ケーブルの固定

USB延長ケーブルのコネクターが外れないように、絶縁テープなどで固定してください。



カメラの接続



- ^[1] 別売りです。
- ^[2] このジャックはAV-INまたはフロントビューカメラの入力に対応しています。詳細については、➡「入力セットアップ」(P. 37)を参照してください。
- ^[3] 3.5 mm 4極ミニプラグ (1：左音声、2：映像、3：アース、4：右音声)

MEMO

はじめに

オーディオ・
デジタル

Bluetooth

オプション

情報・設定

取付説明

付録

故障かなと思ったら

困ったことが起きたら、まずこの章の記載に当てはまらないか確認してください。



- 本機には、設定したモードによって無効になる機能もあります。
- 故障だと思って、ちょっとした操作ミスや配線ミスの場合もあります。

一般的な操作について

本機の電源が入らない

本体ヒューズが切れている。

コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。

車両のヒューズが切れている。

コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。

オーディオ操作について

ラジオの受信状態が悪い

車のアンテナが伸びていない。

アンテナを完全に引き出してください。

アンテナコントロール線が接続されていない。

線を正しく接続してください。➡「システムおよび外部機器の接続」(P. 50)を参照してください。

音が出ない

音量を調整してください。

音楽とビデオがサポートされているかどうかを確認してください。

フォルダーを選択できない

ランダム再生機能が有効になっている。

ランダム再生機能をオフにしてください。

リバース操作について

映像異常

リバースモードを終了して、再度入ってください。

カメラに異物が付着していないか確認してください。

リアビューカメラの種類が適合しているか確認してください。

リバース検出コードを確認してください。

Bluetooth操作について

接続失敗

本機のBluetooth機能が有効になっていない。

モバイルデバイスのBluetoothがオンになっていることを確認してください。

デバイスが本機で必要なプロファイルに対応していない。

別のデバイスを接続してください。

音質が悪い

外部マイクが正しく設定されていない。

外部マイクのゲインおよび位置を調整してください。

再生可能なメディアとファイル

本機ではさまざまな種類のメディアやファイルを再生できます。

ファイルについて

■ 再生可能なオーディオファイル

	フォーマット	ビットレート	サンプリング周波数	ビット数
AAC-LC (.m4a)	MPEG-2/ MPEG-4 AAC LC HE-AAC (V1、 V2)	8～320 kbps、 VBR	16～48 kHz	16 ビット
MP3 (.mp3)	MPEG-1/ MPEG-2 オーディオ レイヤー3	8～320 kbps、 VBR	16～48 kHz	16 ビット
WMA (.wma)	Windows Media Audio Standard L3 プロファイル (バージョン7、 8、9)	8～320 kbps	16～48 kHz	16 ビット
リニアPCM (WAVE) (.wav)	RIFF波形オーディ オフォーマット	–	16～192 kHz	16/24 ビット
FLAC (.flac)	FLAC	–	16～192 kHz	16/24 ビット
Vorbis (.ogg)	Vorbis	VBR	16～48 kHz	16 ビット

- ・ DRM付きのWMAおよびAACファイルは再生できません。
- ・ 音声ファイルは上記の規格に準拠していますが、メディアやデバイスの種類や状態によっては再生できない場合があります。

■ 再生可能なビデオファイル

	プロファイル	最大ピクチャサイズ	最大ビットレート	オーディオフォーマット
MPEG-1 (.mpg, .mpeg)	–	352 × 240, 352 × 288	1.5 Mbps	MPEGオーディオ レイヤー2
MPEG-2 (.mpg, .mpeg)	MP@ML	720 × 480, 720 × 576	8 Mbps	MPEGオーディオ レイヤー2
H.264/MPEG-4 AVC (.mp4, .m4v, . avi, .flv)	ベースラインプロ ファイル、メイン プロファイル	1920 × 1080 (30 fps)	8 Mbps	MP3, AAC
MPEG-4 (.mp4, .avi)	アドバンスドシン ブルプロファイル	1920 × 1080 (30 fps)	8 Mbps	MP3, AAC

	プロファイル	最大ピクチャサイズ	最大ビットレート	オーディオフォーマット
WMV (.wmv)	メインプロファイル	1920 × 1080 (30 fps)	8 Mbps	WMA
MKV (.mkv)	ビデオフォーマットはH.264/ MPEG-4 AVC、 MPEG-4、WMV に対応			MP3、AAC、 WMA、Vorbis、 FLAC

- ・ 本機は4 GBより小さいファイルのみ再生できます。

■ ファイルおよびフォルダー構成の制限

	USBデバイス
最大フォルダー階層数	8
最大ファイル数（フォルダーごと）	999
最大フォルダー数（フォルダーごと）	9999
最大フォルダー数（デバイスごと）	無制限

- ・ フォルダー名およびファイル名は、半角文字、全角文字で入力できます。（半角255文字以下）
- ・ フォルダー名がドット（.）で始まるフォルダー内のファイルは再生できません。

主な仕様

■ モニターセクション

LCD画面サイズ

: 9インチ
: 198.91 (W) × 111.89 (H) mm

表示方式

: 透過型広視野角液晶

駆動方式

: TFTアクティブマトリクスシステム

画素数

: 2,764,800 (1,280H × RGB × 720 V)

画素配列

: RGBストライプ配列

LCDバックライト使用光源

: LED

タッチパネル方式

: 静電容量方式タッチスクリーン

タッチパネル表面処理

: グレア処理

■ USBインターフェースセクション

USB規格

: USB 2.0 High Speed

ファイルシステム

: FAT16、FAT32、exFAT、NTFS

最大供給電流

: DC 5 V ≒ 2.1 A

急速充電

: USB BC1.2

D/Aコンバーター

: 24 Bit

オーディオデコーダー

: MP3/WMA/AAC/WAV/FLAC

ビデオデコーダー

: MPEG-1/MPEG-2/MPEG-4/WMV/
H.264/MKV

周波数特性

- 192 kHz : 20~20,000 Hz
- 96 kHz : 20~20,000 Hz
- 48 kHz : 20~20,000 Hz
- 44.1 kHz : 20~20,000 Hz

全高調波歪み

: Typ : 0.05 % (1 kHz)

S/N比

: Typ : 78 dB

ダイナミックレンジ

: Typ : 89 dB

■ HDMIセクション

入力端子

: Type-D

入力解像度

- 640×480 60 Hz 4 : 3
- 720×480 60 Hz 4 : 3
- 720×480 60 Hz 16 : 9
- 1280×720 60 Hz 16 : 9

サンプリング周波数(音声)

: 32 k/44.1 k/48 k/88.2 k/96 k/176.2
k/192 k Hz
: 16/20/24 ビットリニアPCM

■ Wi-Fiセクション

IEEE規格

: 802.11 a/b/g/n/ac

周波数レンジ

: デュアルバンド (2.4 GHz/5 GHz)

チャンネル

: 2.4 GHz: 11ch/5 GHz : W52 (36、40、
44、48ch)

転送速度 (最大)

: 11a : 54 Mbps/11b : 11 Mbps/11g : 54
Mbps/11n : 130 Mbps/11ac : 390 Mbps

出力

: 最大+14 dBm

■ Bluetoothセクション

バージョン

: Bluetooth Ver5.3準拠

周波数

: 2.402~2.480 GHz

RF出力電力 (E.I.R.P.)

: +4 dBm (最大)、パワークラス2

最大通信距離

: 見通し距離約 10 m (32.8 フィート)

音声コーデック

: SBC/AAC

対応プロファイル (マルチプロファイル対応)

- HFP v1.7対応
- SPP v1.2対応
- A2DP 1.4対応
- AVRCP v1.6対応
- PBAP v1.2対応

マイク入力端子

: 3.5Φ ミニジャック

■ FMチューナーセクション**受信周波数範囲 (周波数ステップ)**

: 76.0 MHz~99.0 MHz (100 kHz)

実用感度 (S/N比: 30 dB)

: Typ: 8 dBf

周波数特性 (± 3.0 dB)

: 100 Hz~10 kHz

S/N比

: Typ: 75 dB

ステレオセパレーション

: Typ: 45 dB

■ AMチューナーセクション**受信周波数範囲 (周波数ステップ)**

: 522 kHz~1629 kHz (9 kHz)

実用感度

: Typ: 29 dBu

■ ビデオセクション**映像方式**

: NTSC

外部映像入力レベル (RCA端子)

: Typ: 1 Vp-p/75 Ω

外部映像入力レベル (ミニジャック端子)

: Typ: 1 Vp-p/75 Ω

外部音声最大入力レベル (ミニジャック端子)

: 1.1 VRMS/10 kΩ

映像出力レベル (RCA端子)

: Typ: 1 Vp-p/75 Ω

音声出力レベル (RCA端子)

: Typ: 3 V/10 kΩ

■ オーディオセクション**最大出力**

: 50 W × 4

定格出力

: 22 W × 4

出力周波数帯域

: 20~20,000 Hz

プリアウトレベル

: Typ 3 V/10 kΩ

プリアウトインピーダンス

: ≤ 600 Ω

スピーカーインピーダンス

: 4~8 Ω

■ DSPセクション**グラフィックイコライザー**

- バンド: 13バンド
- 周波数 (バンド1~13)
 - : 62.5/100/160/250/400/630/1k/1.6k/2.5k/4k/6.3k/10k/16k Hz

ゲイン

: -9/-8/-7/-6/-5/-4/-3/-2/-1/0/1/2/3/4/5/6/7/8/9 dB

2ウェイクロスオーバー

- ハイパスフィルター
 - 周波数: スルー、30/40/50/60/70/80/90/100/120/150/180/220/250 Hz
 - スロープ: -6/-12/-18/-24 dB/オクターブ
 - ゲイン: -8/-7/-6/-5/-4/-3/-2/-1/0 dB
- ローパスフィルター
 - 周波数: 30/40/50/60/70/80/90/100/120/150/180/220/250 Hz、スルー
 - スロープ: -6/-12/-18/-24 dB/オクターブ
 - ゲイン: -8/-7/-6/-5/-4/-3/-2/-1/0 dB

3ウェイクロスオーバー

- ハイパスフィルター
 - 周波数: スルー、250/300/1k/1.6k/2.5k/4k/5k/6.3k/8k/10k/12.5k Hz
 - スロープ: -12/-18/-24 dB/オクターブ
 - ゲイン: -8/-7/-6/-5/-4/-3/-2/-1/0 dB
- バンドパスフィルター
 - 周波数:
 - スルー、50/60/70/80/90/100/120/150/180/220/250/300 Hz
 - 250/300/1k/1.6k/2.5k/4k/5k/6.3k/8k Hz、スルー

本機について

特許権/著作権/商標など

- Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。株式会社JVCケンウッドは使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。
- Windows Media is a registered trademark or trademark of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries. This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft.
- This software is based in part on the work of the independent JPEG Group. 本機搭載のソフトウェアは、independent JPEG Groupのソフトウェアを一部利用しております。
- Use of the Made for Apple badge means that an accessory has been designed to connect specifically to the Apple product(s) identified in the badge, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with an Apple product may affect wireless performance.
- Apple, Apple CarPlay, Apple Music, iPhone, Lightning, and Siri are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries and regions.
- Use of the Apple CarPlay logo means that a vehicle user interface meets Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this vehicle or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this product with iPhone, iPod, or iPad may affect wireless performance.
- App Store is a service mark of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

- スロープ：-12/-18/-24 dB/オクターブ
- ゲイン：-8/-7/-6/-5/-4/-3/-2/-1/0 dB
- ・ローパスフィルター
 - 周波数：30/40/50/60/70/80/90/100/120/150 Hz、スルー
 - スロープ：-12/-18/-24 dB/オクターブ
 - ゲイン：-8/-7/-6/-5/-4/-3/-2/-1/0 dB

ポジション

- ・フロント/リア/サブウーファーディレイ：0～6.1 m (0.01 mステップ)
- ・ゲイン：-8～0 dB

サブウーファーレベル

：-50～+10 dB

■ 一般事項

電源電圧

：12 V DCカーバッテリー

外形寸法（幅×高さ×奥行き）

シャーシ：178 mm x 50 mm x 120 mm

ディスプレイ：240 mm x 140 mm x 31 mm

質量（重さ）

本体：0.94 kg

ディスプレイ：0.66 kg

衛星測位システム

- ・受信衛星
：GPS、GLONASS、QZSS、Galileo、BeiDou



- ・液晶パネルの有効画素数は99.99%以上とされていますが、0.01%の画素が点灯しなかったり、誤って点灯する場合があります。

仕様は予告なく変更される場合があります。

- IOSは、Ciscoの米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Google、Android、Google Play、Android Auto、およびその他のマークは Google LLC の商標です。
互換性のある Android スマートフォンと、有効なデータ通信プランが必要です。
お持ちの自動車のディスプレイで Android Auto をご利用いただくには、Android 11.0 以上の Android スマートフォン、有効なデータプランが必要です。
- Wi-Fi®、Wi-Fi CERTIFIEDロゴはWi-Fi Alliance®の登録商標です。
- Wi-Fi CERTIFIED™はWi-Fi Alliance®の商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、米国およびその他の国におけるHDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
- QRコードは（株）デンソーウェーブの登録商標です。
- 本製品には、日本電気株式会社のフォント「FontAvenue」を使用しています。



FontAvenue

- THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL USE OF A CONSUMER OR OTHER USES IN WHICH IT DOES NOT RECEIVE REMUNERATION TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com)
- THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE VC-1 PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE VC-1 STANDARD ("VC-1 VIDEO") AND/OR (ii) DECODE VC-1 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED

IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE VC-1 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com)

• libFLAC

Copyright (C) 2000-2009 Josh Coalson

Copyright (C) 2011-2013 Xiph.Org Foundation

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS

INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

- libvorbis

Copyright (c) 2002-2008 Xiph.org Foundation Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

- libogg

Copyright (c) 2002, Xiph.org Foundation Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

ソフトウェア使用許諾契約書

【本製品をご使用前に必ずお読みください】

このナビゲーション製品本体（以下、「本システム」）および同梱品（併せて、以下、「本製品」）には、株式会社JVCケンウッド（以下、「ライセンサー」）のソフトウェア、および/または複数のソフトウェアライセンサー（以下、「ソフトウェア供給者」）から当社に対して許諾されたソフトウェア（併せて、以下、「許諾ソフトウェア」）が含まれています。許諾ソフトウェアは、ソフトウェアに関連する書類、マニュアルその他の印刷物を含みます。書類および印刷物は、オンラインまたは電子媒体で供給するものを含みます。

お客様（以下、「使用者」）は本件使用許諾契約書の内容にご同意のうえ、本製品をご使用いただくものと致します。

使用者が本製品をご使用された時点で本契約が成立したものと見なされます。

なお、許諾ソフトウェアにはライセンサーが第三者より直接的にまたは間接的に使用の許諾を受けたソフトウェアが含まれている場合があります。その場合には一部の第三者は本ソフトウェア使用許諾契約書とは別にお客様に対して使用条件を定めております。かかるソフトウェアについては本契約書は適用されませんので別途提示させていただきます「ソフトウェアに関する重要なお知らせ」を必ずご覧ください。

【使用許諾契約書】

第1条（総則）

ライセンサーは、許諾ソフトウェアの国内における非独占的かつ第3条第1項に定める例外を除き譲渡不能な使用权を使用者に許諾します。

第2条（使用权）

1. 本契約によって生ずる使用权とは、許諾ソフトウェアの本製品を使用する権利をいいます。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアの一部もしくは全部を複製、複写もしくは修正、追加等の改変をすることができません。
3. 許諾ソフトウェアの使用は私的範囲に限定されるものとし、許諾ソフトウェアは営利目的と否とに関わらず、いかなる目的でも頒布することができません。

4. 使用者は、許諾ソフトウェアを取扱説明書、スタートガイド、またはヘルプファイル等に記載の使用方法に沿って使用するものとし、許諾ソフトウェアの全部または一部を用いて著作権法等の法規に違反するデータの使用、複製を行ってはならないものとします。また、指定PCへのネットワーク接続を用いて、使用者以外の第三者にこれを使用させることは許されていません。

第3条（許諾条件）

1. 使用者は、本製品を譲渡する場合、内在する許諾ソフトウェア（その関連資料、アップデート版、アップグレード版を含む）の使用権については、自らの手元にオリジナル及び一切の複製物、関連資料を残さない事、又譲受人を本ソフトウェア使用許諾契約に従わせる事を条件に、移転できるものとします。
2. 使用者は許諾ソフトウェアに関し、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等のソースコード解析作業を行ってはならないものとします。

第4条（許諾ソフトウェアの権利）

許諾ソフトウェア及びその関連書類に関する著作権等一切の権利は、ライセンサーまたはライセンサーに許諾ソフトウェアの使用、再許諾を許諾した原権利者（以下、原権利者）に帰属するものとし、使用者は許諾ソフトウェア及びその関連書類に関して本契約に基づき許諾された使用権以外の権利を有しないものとします。

第5条（ライセンサーの免責）

1. ライセンサー及び原権利者は、使用者が本契約に基づき許諾された使用権を行使することにより生じた使用者もしくは第三者の損害に関していかなる責任も負わないものとします。但し、これを制限する別途法律の定めがある場合はこの限りではありません。
2. ライセンサーは「許諾ソフトウェア」について商品性、互換性及び特定目的に合致していることを保証致しません。

第6条（第三者に対する責任）

使用者が許諾ソフトウェアを使用することにより、第三者との間で著作権、特許権その他の知的財産権の侵害を理由として紛争が生じたときは、使用者自身が自らの費用で解決するものとし、ライセンサー及び原権利者に一切の迷惑をかけないものとします。

第7条（秘密保持）

使用者は、本契約により提供される許諾ソフトウェア、その関連書類等の情報及び本契約の内容のうち公然と知られていないものについて秘密を保持するものとし、ライセンサーの承諾を得ることなく第三者に開示または漏洩しないものとし、ます。

第8条（契約の解除）

ライセンサーは、使用者において次の各号の一に該当する事由があるときは、直ちに本契約を解除し、またはそれによって蒙った損害の賠償を使用者に対し請求できるものとします。

（1）本契約に定める条項に違反したとき

（2）差押、仮差押、仮処分その他強制執行の申立を受けたとき

第9条（許諾ソフトウェアの廃棄）

前条の規定により本契約が終了した場合、使用者は契約の終了した日から2週間以内に許諾ソフトウェア、関連書類及びその複製物を廃棄するものとします。

第10条（著作権保護）

1. 許諾ソフトウェアに関する著作権及びその他一切の知的財産権は、ライセンサー及び原権利者に帰属するものでありいかなる権利も使用者が有するものではありません。
2. 使用者は許諾ソフトウェアの使用に際し、著作権法及びその関連の法律に従うものとします。

第11条（輸出規制）

1. 許諾ソフトウェアを日本国外に輸出すること（インターネット等を利用した国外送信を含みます）はできないものといたします。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアが日本国およびアメリカ合衆国の輸出に関する規制の対象となることを了承するものとします。
3. 使用者は、許諾ソフトウェアに適用される一切の国際法および国内法（アメリカ合衆国の輸出管理規則、アメリカ合衆国、日本国及びその他の政府機関が定めるエンドユーザー、エンドユーザーによる使用及び輸出対象国に関する規制を含みます）に従うことに同意するものとします。

第12条（その他）

1. 本契約の一部が法律によって無効となった場合でも、当該条項以外は有効に存続するものとします。

2. 本契約に定めなき条項もしくは本契約の解釈に疑義を生じた場合には、ライセンサー、使用者は誠意をもって協議し、解決するものとしします。
3. ライセンサー及び使用者は、本契約が日本国の法律に準拠し、本契約から生ずる権利義務に関する紛争については、東京地方裁判所をもって第一審の専属管轄裁判所とする事に合意するものとします。
4. 本契約書の各条項は、代わりの契約書が提供されない限り、許諾ソフトウェアのバージョンアップ後のソフトウェアにも適用されるものとしします。

以上

■ソフトウェアに関する重要なお知らせ

本製品のソフトウェアライセンスについて

本製品に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに株式会社JVCケンウッドまたは第三者の著作権が存在します。

本製品は、株式会社JVCケンウッド及び第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメント（以下、「EULA」といいます）に基づくソフトウェアコンポーネントを使用しております。

「EULA」の中には、フリーソフトウェアに該当するものがあり、GNU General Public LicenseまたはLesser General Public License（以下、「GPL/LGPL」といいます）のライセンスに基づき実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にするように求めています。当該「GPL/LGPL」の対象となるソフトウェアコンポーネントに関しては、以下のホームページをご覧くださいようお願いします。
ホームページアドレス
<https://www.kenwood.com/gpl/j.html>

なお、ソースコードの内容等についてのご質問はお答えしかねますので、予め御了承ください。

「GPL/LGPL」の適用を受けない「EULA」に基づくソフトウェアコンポーネント及び株式会社JVCケンウッド自身が開発もしくは作成したソフトウェアコンポーネントは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

「GPL/LGPL」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は、明示または黙示であるかを問わず一切ありません。

適用法令の定め、又は書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、又は使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。当該ソフトウェアコンポーネントの使用条件や遵守いただくかなければならない事項等の詳細は、各「GPL/LGPL」をお読みください。

本製品に組み込まれた「GPL/LGPL」の対象となるソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用頂く場合は、対応するライセンスをよく読んでから、ご利用くださるようお願い致します。なお各ライセンスは株式会社JVCケンウッド以外の第三者による規定のため、原文（英文）を本製品に掲載します。

掲載場所は [設定] - [System] - [システム情報] の [Open Source Licenses] です。

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

- 商品に関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

0120-2727-87 (固定電話からはフリーダイヤル)

0570-010-114 (携帯電話からはナビダイヤル)

045-450-8950 (一部IP電話など) / FAX 045-450-2308

住所 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

受付時間 月曜～金曜: 9:30～18:00

土曜: 9:30～12:00、13:00～17:30

(日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

- 修理などアフターサービスについては、当社ホームページ (<https://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>) またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。